



技術仕様

この付録では、Nexus 7000 システムの技術仕様について説明します。この付録の内容は次のとおりです。

- システムの環境仕様 Cisco Nexus 7000 シリーズ (A-1 ページ)
- Cisco Nexus 7000 シリーズ シャーシの物理仕様 (A-2 ページ)
- Cisco Nexus 7000 シリーズ スイッチの電力仕様 (A-11 ページ)
- 電源モジュール ケーブル仕様 (A-23 ページ)
- シャーシの隙間 (A-44 ページ)
- ファシリティ冷却要件 (A-59 ページ)
- シャーシのエアフロー (A-59 ページ)

システムの環境仕様 Cisco Nexus 7000 シリーズ

表 A-1 は、Cisco Nexus 7000 シリーズ システムの環境仕様を示しています。

表 A-1 Cisco Nexus 7000 シリーズ スイッチの環境仕様

説明	Cisco Nexus 7004	Cisco Nexus 7009	Cisco Nexus 7010	Cisco Nexus 7018
温度	動作温度	0 ~ 40 °C (32 ~ 104 °F)		
	非動作温度	-40 ~ 70 °C (-40 ~ 158 °F)		
相対湿度	動作時 (結露しないこと)	5 ~ 90 % (45 ~ 50 % を推奨)		
	非動作時および保管時 (結露しないこと)	5 ~ 95 %		
高度	動作時	-500 ~ 13,000 フィート (-150 ~ 4,000 m)		
	ストレージ	-1,000 ~ 30,000 フィート (-305 ~ 9,144 m)		

表 A-1 Cisco Nexus 7000 シリーズ スイッチの環境仕様(続き)

説明	Cisco Nexus 7004	Cisco Nexus 7009	Cisco Nexus 7010	Cisco Nexus 7018	
Noise 音圧レベル					
	エアー フィルタを 取り付けていない 状態	70 dBA	63.6 dBA	67.2 dBA	65.0 dBA
	エアー フィルタを 取り付けた状態	—	—	70.2 dBA	—
	音響出力レベル				
エアー フィルタを 取り付けていない 状態	83 dBA	72.5 dBA	78.9 dBA	74.2 dBA	
エアー フィルタを 取り付けた状態	—	—	81.7 dBA	—	

Cisco Nexus 7000 シリーズ シャーシの物理仕様

設置するモデルと、実行する設置方法によって、Cisco Nexus 7000 シリーズ シャーシの物理仕様は異なります(すべてのモデルを前面マウントにできますが、オプションで Cisco Nexus 7004 および 7009 シャーシをセンターマウントにできます)。表 A-2 には、各モデルと設置方法に応じた物理仕様がリストされています。

表 A-2 Cisco Nexus 7000 シリーズ シャーシの物理仕様

シャーシ	幅 ¹	前面深さ ²	背面深さ ³	高さ ⁴
Cisco Nexus 7004 (すべてのマウント)	17.3 インチ (43.9 cm)	7 インチ (17.8 cm)	24.0 インチ (61.0 cm)	12.25 インチ (31.1 cm) (7 RU)
Cisco Nexus 7009 (前面マウント)	17.3 インチ (43.9 cm)	7 インチ (17.8 cm)	24.0 インチ (61.0 cm)	24.5 インチ (62.2 cm) (14 RU)
Cisco Nexus 7009 (センターマウント)	17.3 インチ (43.9 cm)	13 インチ (33.0 cm)	18.0 インチ (45.8 cm)	24.5 インチ (62.2 cm) (14 RU)
Cisco Nexus 7010 (すべてのマウント)	17.3 インチ (43.9 cm)	7 インチ (17.8 cm)	33.1 インチ (84.1 cm)	36.75 インチ (93.3 cm) (21.0 RU)
Cisco Nexus 7018 (すべてのマウント)	17.3 インチ (43.9 cm)	7 インチ (17.8 cm)	33.1 インチ (84.1 cm)	43.75 インチ (111.1 cm) (25.0 RU)

- 幅は、ラックまたはキャビネット内の 2 本の垂直取り付けレール間に必要な最小の隙間でもあります。
- 前面深さは、前面取り付けレールと、ラックまたはキャビネットの前部の内部間に必要な最小の隙間でもあります。すべてのスイッチについて、これにはケーブル接続用の 7 インチ (17.8 cm) が含まれます。センターマウントの Cisco Nexus 7009 シャーシの場合、この間隔にはセンターマウントブラケットによるシャーシ前部への 6 インチのオフセットも含まれます。
- 背面深さは、前面取り付けレールと、ラックまたはキャビネットの背面の内部の間に必要な隙間でもあります。前面マウントスイッチの場合、これはシャーシの深さと同じです。センターマウントの Cisco Nexus 7009 スイッチの場合、これは前面へのオフセットとなり、シャーシの深さより 6 インチ (15.2 cm) 少なくなります。
- 高さは、下部支持ブラケットの上部と、取り付けるシャーシの上部との間に必要な隙間でもあります。このシャーシの上に別のシャーシを取り付ける場合、その下部支持ブラケットはこの隙間エリアの上に配置する必要があります。

重量および数量は次の表のとおりです。

- Cisco Nexus 7004 スイッチ(表 A-3 を参照)
- Cisco Nexus 7009 スイッチ(表 A-4(A-5ページ)を参照)
- Cisco Nexus 7010 スイッチ(表 A-5(A-7ページ)を参照)
- Cisco Nexus 7018 スイッチ(表 A-6(A-9ページ)を参照)

各表の重量には、シャーシをサポートするラックまたはキャビネット、インターフェイス、および電源コードは含まれません。これらの重量については、コンポーネントのメーカーが提供する資料を参照してください。

表 A-3 Cisco Nexus 7004 スイッチ コンポーネントの重量および数量

コンポーネント	ユニットあたりの重量	数量
シャーシ	45.0 ポンド (20.0 kg)	1
スーパーバイザ モジュール	—	1 または 2 (同じモデル であること)
Supervisor 2 (N7K-SUP2)	10.4 ポンド (4.7 kg)	
Supervisor 2 Enhanced (N7K-SUP2E)	11.7 ポンド (5.3 kg)	

表 A-3 Cisco Nexus 7004 スイッチ コンポーネントの重量および数量(続き)

コンポーネント	ユニットあたりの重量	数量
F2 I/O モジュール	—	1 または 2 (I/O モジュール タイプの 混在可)
48 ポート 1 ギガビットおよび 10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-F248XP-25 および N7K-F248XP-25E)	14.0 ポンド (6.4 kg)	
48 ポート 1/10 GBASE-T I/O モジュール (N7K-F248XT-25E)	14.0 ポンド (6.4 kg)	
F3 I/O モジュール	—	
48 ポート 1 ギガビットおよび 10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-F348XP-25)	15.0 ポンド (6.8 kg)	
12 ポート 40 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-F312FQ-25)	15.0 ポンド (6.8 kg)	
6 ポート、100 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-F306CK-25)	16.0 ポンド (7.3 kg)	
M1 I/O モジュール	—	
48 ポート 10/100/1000 イーサネット I/O モジュール (N7K-M148GT-11L)	14 ポンド (6.4 kg)	
XL オプション付き 48 ポート 1 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M148GS-11L)	15.5 ポンド (7.0 kg)	
XL オプション付き 32 ポート 10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M132XP-12L)	17.0 ポンド (7.7 kg)	
XL オプション付き 8 ポート 10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M108X2-12L)	14.0 ポンド (6.4 kg)	
M2 I/O モジュール	—	
XL オプション付き 24 ポート 10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M224XP-23L)	16.5 ポンド (7.5 kg)	
XL オプション付き 6 ポート 40 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M206FQ-23L)	16.5 ポンド (7.5 kg)	
XL オプション付き 2 ポート 100 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M202CF-22L)	17.0 ポンド (7.7 kg)	
M3 I/O モジュール	—	
XL オプション付き 48 ポート 1 ギガビットおよび 10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M348XP-25L)	12 ポンド (5.44 kg)	
XL オプション付き 24 ポート 40 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M324FQ-25L)	12 ポンド (5.44 kg)	
サービス モジュール	—	0 または 1
NAM (N7K-SM-NAM-K9)	17.9 ポンド (8.1 kg)	
ファントレイ (N7K-C7004-FAN)	25.0 ポンド (11.3 kg)	1
電源モジュール	—	1 ~ 4 (電源タイプの 混在可)
3 kW AC 電源モジュール (N7K-AC-3KW)	11.0 ポンド (5.0 kg)	
3 kW DC 電源モジュール (N7K-DC-3KW)	11.0 ポンド (5.0 kg)	
3.5 kW HVAC/HVDC 電源モジュール (N7K-HV-3.5KW)	11.0 ポンド (5.0 kg)	
オプション コンポーネント	—	—

表 A-3 Cisco Nexus 7004 スイッチ コンポーネントの重量および数量(続き)

コンポーネント	ユニットあたりの重量	数量
前面扉キット(N7K-C7004-FD-MB)	—	0 または 1
エア フィルタ(N7K-C7004-AFLT)	—	0 または 1

表 A-4 Cisco Nexus 7009 スイッチ コンポーネントの重量および数量

コンポーネント	ユニットあたりの重量	数量
シャーシ	100 ポンド(45.0 kg)	1
スーパーバイザ モジュール	—	1 または 2 (2 個を使用する場合は同じタイプ)
Supervisor 1(N7K-SUP1)	9.9 ポンド(4.5 kg)	
Supervisor 2(N7K-SUP2)	10.4 ポンド(4.7 kg)	
Supervisor 2 Enhanced(N7K-SUP2E)	11.7 ポンド(5.3 kg)	

表 A-4 Cisco Nexus 7009 スイッチ コンポーネントの重量および数量(続き)

コンポーネント	ユニットあたりの重量	数量
F1 I/O モジュール	—	1 ~ 7 (I/O モジュール タイプの 混在可)
32 ポート 1 ギガビットおよび 10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-F132XP-15)	14.0 ポンド (6.4 kg)	
F2 I/O モジュール	—	
48 ポート 1 ギガビットおよび 10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-F248XP-25 および N7K-F248XP-25E)	14.0 ポンド (6.4 kg)	
48 ポート 1/10 GBASE-T I/O モジュール (N7K-F248XT-25E)	14.0 ポンド (6.4 kg)	
F3 I/O モジュール	—	
48 ポート 1 ギガビットおよび 10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-F348XP-25)	15.0 ポンド (6.8 kg)	
12 ポート 40 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-F312FQ-25)	15.0 ポンド (6.8 kg)	
6 ポート、100 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-F306CK-25)	16.0 ポンド (7.3 kg)	
M1 I/O モジュール	—	
48 ポート 10/100/1000 イーサネット I/O モジュール (N7K-M148GT-11)	14 ポンド (6.4 kg)	
48 ポート 10/100/1000 イーサネット I/O モジュール (N7K-M148GT-11L)	14 ポンド (6.4 kg)	
48 ポート 1 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M148GS-11)	15.5 ポンド (7.0 kg)	
XL オプション付き 48 ポート 1 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M148GS-11L)	15.5 ポンド (7.0 kg)	
32 ポート 10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M132XP-12)	17.0 ポンド (7.7 kg)	
XL オプション付き 32 ポート 10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M132XP-12L)	17.0 ポンド (7.7 kg)	
XL オプション付き 8 ポート 10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M108X2-12L)	14.0 ポンド (6.4 kg)	
M2 I/O モジュール	—	
XL オプション付き 24 ポート 10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M224XP-23L)	16.5 ポンド (7.5 kg)	
XL オプション付き 6 ポート 40 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M206FQ-23L)	16.5 ポンド (7.5 kg)	
XL オプション付き 2 ポート 100 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M202CF-22L)	17.0 ポンド (7.7 kg)	
M3 I/O モジュール	—	
XL オプション付き 48 ポート 1 ギガビットおよび 10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M348XP-25L)	12 ポンド (5.44 kg)	
XL オプション付き 24 ポート 40 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M324FQ-25L)	12 ポンド (5.44 kg)	
サービス モジュール	—	0 または 1
NAM (N7K-SM-NAM-K9)	17.9 ポンド (8.1 kg)	

表 A-4 Cisco Nexus 7009 スイッチ コンポーネントの重量および数量(続き)

コンポーネント	ユニットあたりの重量	数量
ファブリック モジュール	—	F2 I/O の場合、5 個を使用。F1、M1、M2 I/O の場合は、3 ~ 5 個を使用。
Fabric-2 モジュール(N7K-C7009-FAB-2)	5 ポンド(2.27 kg)	
ファン トレイ (N7K-C7009-FAN)	25.0 ポンド(11.3 kg)	1
電源モジュール	—	1 または 2 (電源タイプの混在可)
6 kW AC 電源モジュール ユニット (N7K-AC-6.0KW)	18 ポンド(8.2 kg)	
7.5 kW AC 電源モジュール ユニット (N7K-AC-7.5KW-INT および N7K-AC-7.5KW-US)	26 ポンド(11.8 kg)	
6 kW DC 電源モジュール ユニット (N7K-DC-6.0KW)	21 ポンド(9.5 kg)	
DC 電源インターフェイス ユニット	5 ポンド(2.3 kg)	0 ~ 2
オプション コンポーネント	—	—
扉および空気取り入れ口フレーム(任意)	—	0 または 1

表 A-5 Cisco Nexus 7010 スイッチ コンポーネントの重量および数量

コンポーネント	ユニットあたりの重量	数量
シャーシ	200 ポンド(90.9 kg)	1
スーパーバイザ モジュール	—	1 または 2 (2 個を使用する場合は同じタイプ)
Supervisor 1 (N7K-SUP1)	9.9 ポンド(4.5 kg)	
Supervisor 2 (N7K-SUP2)	10.4 ポンド(4.7 kg)	
Supervisor 2 Enhanced (N7K-SUP2E)	11.7 ポンド(5.3 kg)	

表 A-5 Cisco Nexus 7010 スイッチ コンポーネントの重量および数量(続き)

コンポーネント	ユニットあたりの重量	数量
F1 I/O モジュール	—	1 ~ 8 (I/O モジュール タイプの混 在可)
32 ポート 1 ギガビットおよび 10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-F132XP-15)	14.0 ポンド(6.4 kg)	
F2 I/O モジュール	—	
48 ポート 1 ギガビットおよび 10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-F248XP-25 および N7K-F248XP-25E)	14.0 ポンド(6.4 kg)	
48 ポート 1/10 GBASE-T I/O モジュール(N7K-F248XT-25E)	14.0 ポンド(6.4 kg)	
F3 I/O モジュール	—	
48 ポート 1 ギガビットおよび 10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-F348XP-25)	15.0 ポンド(6.8 kg)	
12 ポート 40 ギガビット イーサネット I/O モジュール(N7K-F312FQ-25)	15.0 ポンド(6.8 kg)	
6 ポート、100 ギガビット イーサネット I/O モジュール(N7K-F306CK-25)	16.0 ポンド(7.3 kg)	
M1 I/O モジュール	—	
48 ポート 10/100/1000 イーサネット I/O モジュール(N7K-M148GT-11)	14 ポンド(6.4 kg)	
48 ポート 10/100/1000 イーサネット I/O モジュール(N7K-M148GT-11L)	14 ポンド(6.4 kg)	
48 ポート 1 ギガビット イーサネット I/O モジュール(N7K-M148GS-11)	15.5 ポンド(7.0 kg)	
XL オプション付き 48 ポート 1 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M148GS-11L)	15.5 ポンド(7.0 kg)	
32 ポート 10 ギガビット イーサネット I/O モジュール(N7K-M132XP-12)	17.0 ポンド(7.7 kg)	
XL オプション付き 32 ポート 10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M132XP-12L)	17.0 ポンド(7.7 kg)	
XL オプション付き 8 ポート 10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M108X2-12L)	14.0 ポンド(6.4 kg)	
M2 I/O モジュール	—	
XL オプション付き 24 ポート 10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M224XP-23L)	16.5 ポンド(7.5 kg)	
XL オプション付き 6 ポート 40 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M206FQ-23L)	16.5 ポンド(7.5 kg)	
XL オプション付き 2 ポート 100 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M202CF-22L)	17.0 ポンド(7.7 kg)	
M3 I/O モジュール	—	
XL オプション付き 48 ポート 1 ギガビットおよび 10 ギガビット イーサ ネット I/O モジュール(N7K-M348XP-25L)	12 ポンド(5.44 kg)	
XL オプション付き 24 ポート 40 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M324FQ-25L)	12 ポンド(5.44 kg)	
サービス モジュール	—	0 または 1
NAM(N7K-SM-NAM-K9)	17.9 ポンド(8.1 kg)	

表 A-5 Cisco Nexus 7010 スイッチ コンポーネントの重量および数量(続き)

コンポーネント	ユニットあたりの重量	数量
ファブリック モジュール	—	F2 I/O の場合、5 個を使用。
Fabric-1 モジュール (N7K-C7010-FAB-1)	4 ポンド (1.8 kg)	F1、M1、M2 I/O の場合は、3 ~ 5 個を使用。
Fabric-2 モジュール (N7K-C7010-FAB-2)	4 ポンド (1.8 kg)	
ファン トレイ	—	—
システム ファン トレイ (N7K-C7010-FAN-S)	20 ポンド (9.1 kg)	2
ファブリック ファン トレイ (N7K-C7010-FAN-F)	5 ポンド (2.3 kg)	2
電源モジュール	—	2 ~ 3 (電源タイプの混在可)
6 kW AC 電源モジュール ユニット (N7K-AC-6.0KW)	18 ポンド (8.2 kg)	
7.5 kW AC 電源モジュール ユニット (N7K-AC-7.5KW-INT および N7K-AC-7.5KW-US)	26 ポンド (11.8 kg)	
6 kW DC 電源モジュール ユニット (N7K-DC-6.0KW)	21 ポンド (9.5 kg)	
DC 電源インターフェイス ユニット	5 ポンド (2.3 kg)	0 ~ 2
オプション コンポーネント	—	—
ミッドフレーム ドアおよびフレーム	—	0 または 1

表 A-6 Cisco Nexus 7018 スイッチ コンポーネントの重量および数量

コンポーネント	ユニットあたりの重量	数量
シャーシ	187 ポンド (85.0 kg)	1
スーパーバイザ モジュール	—	1 または 2 (2 個を使用する場合は同じタイプ)
Supervisor 1 (N7K-SUP1)	9.9 ポンド (4.5 kg)	
Supervisor 2 (N7K-SUP2)	10.4 ポンド (4.7 kg)	
Supervisor 2 Enhanced (N7K-SUP2E)	11.7 ポンド (5.3 kg)	

表 A-6 Cisco Nexus 7018 スイッチ コンポーネントの重量および数量(続き)

コンポーネント	ユニットあたりの重量	数量
F1 I/O モジュール	—	1 ~ 8 (I/O モジュール タイプの混 在可)
32 ポート 1 ギガビットおよび 10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-F132XP-15)	14.0 ポンド (6.4 kg)	
F2 I/O モジュール	—	
48 ポート 1 ギガビットおよび 10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-F248XP-25 および N7K-F248XP-25E)	14.0 ポンド (6.4 kg)	
48 ポート 1/10 GBASE-T I/O モジュール (N7K-F248XT-25E)	14.0 ポンド (6.4 kg)	
F3 I/O モジュール	—	
48 ポート 1 ギガビットおよび 10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-F348XP-25)	15.0 ポンド (6.8 kg)	
12 ポート 40 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-F312FQ-25)	15.0 ポンド (6.8 kg)	
6 ポート、100 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-F306CK-25)	16.0 ポンド (7.3 kg)	
M1 I/O モジュール	—	
48 ポート 10/100/1000 イーサネット I/O モジュール (N7K-M148GT-11)	14 ポンド (6.4 kg)	
48 ポート 10/100/1000 イーサネット I/O モジュール (N7K-M148GT-11L)	14 ポンド (6.4 kg)	
48 ポート 1 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M148GS-11)	15.5 ポンド (7.0 kg)	
XL オプション付き 48 ポート 1 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M148GS-11L)	15.5 ポンド (7.0 kg)	
32 ポート 10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M132XP-12)	17.0 ポンド (7.7 kg)	
XL オプション付き 32 ポート 10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M132XP-12L)	17.0 ポンド (7.7 kg)	
XL オプション付き 8 ポート 10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M108X2-12L)	14.0 ポンド (6.4 kg)	
M2 I/O モジュール	—	
XL オプション付き 24 ポート 10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M224XP-23L)	16.5 ポンド (7.5 kg)	
XL オプション付き 6 ポート 40 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M206FQ-23L)	16.5 ポンド (7.5 kg)	
XL オプション付き 2 ポート 100 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M202CF-22L)	17.0 ポンド (7.7 kg)	
M3 I/O モジュール	—	
XL オプション付き 48 ポート 1 ギガビットおよび 10 ギガビット イーサ ネット I/O モジュール (N7K-M348XP-25L)	12 ポンド (5.44 kg)	
XL オプション付き 24 ポート 40 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M324FQ-25L)	12 ポンド (5.44 kg)	
サービス モジュール	—	0 または 1
NAM (N7K-SM-NAM-K9)	17.9 ポンド (8.1 kg)	

表 A-6 Cisco Nexus 7018 スイッチ コンポーネントの重量および数量(続き)

コンポーネント	ユニットあたりの重量	数量
ファブリック モジュール	—	F2 I/O の場合、5 個を使用。
Fabric-1 モジュール (N7K-C7018-FAB-1)	7.5 ポンド (3.4 kg)	F1、M1、M2 I/O の場合は、3 ~ 5 個を使用。
Fabric-2 モジュール (N7K-C7018-FAB-2)	7.5 ポンド (3.4 kg)	
ファン トレイ (N7K-C7018-FAN)	25.8 ポンド (11.7 kg)	2
電源モジュール	—	2 ~ 4 (電源タイプ の混在可)
6 kW AC 電源モジュール ユニット (N7K-AC-6.0KW)	18 ポンド (8.2 kg)	
7.5 kW AC 電源モジュール ユニット (N7K-AC-7.5KW-INT および N7K-AC-7.5KW-US)	26 ポンド (11.8 kg)	
6 kW DC 電源モジュール ユニット (N7K-DC-6.0KW)	21 ポンド (9.5 kg)	
DC 電源インターフェイス ユニット	5 ポンド (2.3 kg)	0 ~ 2
オプション コンポーネント	—	—
前面扉 (任意)	25 ポンド (11.3 kg)	0 または 1

Cisco Nexus 7000 シリーズスイッチの電力仕様

Cisco Nexus 7000 シリーズスイッチに必要な電源モジュールの数は、スイッチのシャーシに搭載するモジュールの数量およびタイプ、使用している電源モジュール ユニットのタイプ、および使用している電源の冗長性モードによって異なります。

ここでは、スイッチの所要電力、および各タイプの電源モジュール コンフィギュレーション モードで使用可能な電力量を算出する方法について説明します。

- [スイッチ コンポーネントの所要電力 \(A-11 ページ\)](#)
- [電源モジュール コンフィギュレーション モード \(A-18 ページ\)](#)

スイッチ コンポーネントの所要電力

Cisco Nexus 7000 シリーズスイッチの所要電力を判別するには、各コンポーネントの所要電力を加算します。コンポーネントごとに、モジュールの数にコンポーネントの最大所要電力または一般的な所要電力を掛けます。各 Cisco Nexus 7000 シリーズスイッチの所要台数と所要電力を調べるには、次の表を参照してください。

- Cisco Nexus 7004: [表 A-7](#) を参照
- Cisco Nexus 7009: [表 A-8 \(A-13 ページ\)](#) を参照
- Cisco Nexus 7010: [表 A-9 \(A-14 ページ\)](#) を参照
- Cisco Nexus 7018: [表 A-10 \(A-16 ページ\)](#) を参照

表 A-7 Cisco Nexus 7004 スwitchの所要電力

コンポーネント	数量	最大	標準
スーパーバイザ モジュール	1 または 2 (2 個を使用する場合は同じタイプ)	—	—
Supervisor 2 (N7K-SUP2)		300 W	109 W
Supervisor 2 Enhanced (N7K-SUP2E)		300 W	147 W
F2 I/O モジュール	1 または 2	—	—
48 ポート 1 ギガビットおよび 10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-F248XP-25 および N7K-F248XP-25E)		450 W	400 W
48 ポート 1/10 GBASE-T I/O モジュール (N7K-F248XT-25E)		550 W	420 W
F3 I/O モジュール	—	—	—
48 ポート 1 ギガビットおよび 10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-F348XP-25)		340 W	325 W
12 ポート 40 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-F312FQ-25)		340 W	310 W
6 ポート、100 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-F306CK-25)		400 W	325 W
M1 I/O モジュール	—	—	—
XL オプション付き 48 ポート 10/100/1000 イーサネット I/O モジュール (N7K-M148GT-11L)		400 W	358 W
XL オプション付き 48 ポート 1 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M148GS-11L)		400 W	358 W
XL オプション付き 32 ポート 10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M132XP-12L)		750 W	611 W
XL オプション付き 8 ポート 10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M108X2-12L)		650 W	520 W
M2 I/O モジュール	—	—	—
XL オプション付き 24 ポート 10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M224XP-23L)		795 W	720 W
XL オプション付き 6 ポート 40 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M206FQ-23L)		795 W	720 W
XL オプション付き 2 ポート 100 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M202CF-22L)		795 W	690 W
M3 I/O モジュール	—	—	—
XL オプション付き 48 ポート 1/10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M348XP-25L)		525 W	400 W
XL オプション付き 24 ポート 40 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M324FQ-25L)		750 W	600 W
ファントレイ	1	650 W	185 W

表 A-8 Cisco Nexus 7009 スイッチの所要電力

コンポーネント	数量	最大	標準
スーパーバイザ モジュール	1 または 2 (2 個を使用する場合は同じタイプ)	—	—
Supervisor 1 (N7K-SUP1)		210 W	190 W
Supervisor 2 (N7K-SUP2)		300 W	109 W
Supervisor 2 Enhanced (N7K-SUP2E)		300 W	147 W
F1 I/O モジュール	1 ~ 7	—	—
32 ポート 1 ギガビットおよび 10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-F132XP-15)		385 W	283 W
F2 I/O モジュール		—	—
48 ポート 1 ギガビットおよび 10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-F248XP-25 および N7K-F248XP-25E)		450 W	400 W
48 ポート 1/10 GBASE-T I/O モジュール (N7K-F248XT-25E)		550 W	420 W
F3 I/O モジュール		—	—
48 ポート 1 ギガビットおよび 10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-F348XP-25)		340 W	325 W
12 ポート 40 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-F312FQ-25)		340 W	310 W
6 ポート、100 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-F306CK-25)		400 W	325 W
M1 I/O モジュール		—	—
48 ポート 10/100/1000 イーサネット I/O モジュール (N7K-M148GT-11)		400 W	358 W
XL オプション付き 48 ポート 10/100/1000 イーサネット I/O モジュール (N7K-M148GT-11L)		400 W	358 W
48 ポート 1 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M1148GS-11)		400 W	358 W
XL オプション付き 48 ポート 1 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M148GS-11L)		400 W	358 W
32 ポート 10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M132XP-12)		750 W	611 W
XL オプション付き 32 ポート 10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M132XP-12L)		750 W	611 W
XL オプション付き 8 ポート 10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M108X2-12L)		650 W	520 W
M2 I/O モジュール		—	—
XL オプション付き 24 ポート 10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M224XP-23L)		795 W	720 W
XL オプション付き 6 ポート 40 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M206FQ-23L)		795 W	720 W
XL オプション付き 2 ポート 100 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M202CF-22L)		795 W	690 W
M3 I/O モジュール		—	—
XL オプション付き 48 ポート 1/10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M348XP-25L)		525 W	400 W

表 A-8 Cisco Nexus 7009 スイッチの所要電力(続き)

コンポーネント	数量	最大	標準
XL オプション付き 24 ポート 40 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M324FQ-25L)		750 W	600 W
ファブリック モジュール	3 ~ 5	—	—
Fabric-2 モジュール (N7K-C7009-FAB-2)		70 W	55 W
ファントレイ	—	—	—
すべてのファントレイ (合計) (N7K-C7009-FAN)		650 W	190 W

表 A-9 Cisco Nexus 7010 システム コンポーネントの電力要件

コンポーネント	数量	最大	標準
スーパーバイザ モジュール	1 個または 2 個	—	—
Supervisor 1 (N7K-SUP1)	(2 個を使用する場合は同じタイプ)	210 W	190 W
Supervisor 2 (N7K-SUP2)		300 W	109 W
Supervisor 2 Enhanced (N7K-SUP2E)		300 W	147 W

表 A-9 Cisco Nexus 7010 システム コンポーネントの電力要件(続き)

コンポーネント	数量	最大	標準
F1 I/O モジュール	1~8 個 (タイプの混在可)	—	—
32 ポート 1 ギガビットおよび 10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-F132XP-15)		385 W	283 W
F2 I/O モジュール		—	—
48 ポート 1 ギガビットおよび 10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-F248XP-25 および N7K-F248XP-25E)		450 W	400 W
48 ポート 1/10 GBASE-T I/O モジュール (N7K-F248XT-25E)		550 W	420 W
F3 I/O モジュール		—	—
48 ポート 1 ギガビットおよび 10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-F348XP-25)		340 W	325 W
12 ポート 40 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-F312FQ-25)		340 W	310 W
6 ポート、100 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-F306CK-25)		400 W	325 W
M1 I/O モジュール		—	—
48 ポート 10/100/1000 イーサネット I/O モジュール (N7K-M148GT-11)	400 W	358 W	
XL オプション付き 48 ポート 10/100/1000 イーサネット I/O モジュール (N7K-M148GT-11L)	400 W	358 W	
48 ポート 1 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M1148GS-11)	400 W	358 W	
XL オプション付き 48 ポート 1 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M148GS-11L)	400 W	358 W	
32 ポート 10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M132XP-12)	750 W	611 W	
XL オプション付き 32 ポート 10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M132XP-12L)	750 W	611 W	
XL オプション付き 8 ポート 10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M108X2-12L)	650 W	520 W	
M2 I/O モジュール	—	—	
XL オプション付き 24 ポート 10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M224XP-23L)	795 W	720 W	
XL オプション付き 6 ポート 40 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M206FQ-23L)	795 W	720 W	
XL オプション付き 2 ポート 100 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M202CF-22L)	795 W	690 W	
M3 I/O モジュール	—	—	
XL オプション付き 48 ポート 1/10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M348XP-25L)	525 W	400 W	
XL オプション付き 24 ポート 40 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M324FQ-25L)	750 W	600 W	
ファブリック モジュール	3~5 個 (同じタイプ)	—	—
Fabric-1 モジュール (N7K-C7010-FAB-1)		60 W	55 W
Fabric-2 モジュール (N7K-C7010-FAB-2)		80 W	60 W

表 A-9 Cisco Nexus 7010 システム コンポーネントの電力要件(続き)

コンポーネント	数量	最大	標準
ファントレイ (N7K-C7010-FAN-F および N7K-C7010-FAN-S)	—	—	—
すべてのファントレイ (合計)		2184 W	300 W

表 A-10 Cisco Nexus 7018 システム コンポーネントの電力要件

コンポーネント	数量	最大	標準
スーパーバイザ モジュール	1または2	—	—
Supervisor 1 (N7K-SUP1)	(2個を使用する場合は同じタイプ)	210 W	190 W
Supervisor 2 (N7K-SUP2)		300 W	109 W
Supervisor 2 Enhanced (N7K-SUP2E)		300 W	147 W

表 A-10 Cisco Nexus 7018 システム コンポーネントの電力要件

コンポーネント	数量	最大	標準
F1 I/O モジュール	1~16 個 (タイプの混在可)	—	—
32 ポート 1 ギガビットおよび 10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-F132XP-15)		385 W	283 W
F2 I/O モジュール		—	—
48 ポート 1 ギガビットおよび 10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-F248XP-25 および N7K-F248XP-25E)		450 W	400 W
48 ポート 1/10 GBASE-T I/O モジュール (N7K-F248XT-25E)		550 W	420 W
F3 I/O モジュール		—	—
48 ポート 1 ギガビットおよび 10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-F348XP-25)		340 W	325 W
12 ポート 40 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-F312FQ-25)		340 W	310 W
6 ポート、100 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-F306CK-25)		400 W	325 W
M1 I/O モジュール		—	—
48 ポート 10/100/1000 イーサネット I/O モジュール (N7K-M148GT-11)		400 W	358 W
XL オプション付き 48 ポート 10/100/1000 イーサネット I/O モジュール (N7K-M148GT-11L)		400 W	358 W
48 ポート 1 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M1148GS-11)		400 W	358 W
XL オプション付き 48 ポート 1 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M148GS-11L)		400 W	358 W
32 ポート 10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M132XP-12)		750 W	611 W
XL オプション付き 32 ポート 10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M132XP-12L)		750 W	611 W
XL オプション付き 8 ポート 10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M108X2-12L)		650 W	520 W
M2 I/O モジュール		—	—
XL オプション付き 2 ポート 100 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M202CF-22L)		795 W	690 W
XL オプション付き 6 ポート 40 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M206FQ-23L)		795 W	720 W
XL オプション付き 24 ポート 10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M224XP-23L)		795 W	720 W
M3 I/O モジュール		—	—
XL オプション付き 48 ポート 1/10 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M348XP-25L)		525 W	400 W
XL オプション付き 24 ポート 40 ギガビット イーサネット I/O モジュール (N7K-M324FQ-25L)		750 W	600 W
ファブリック モジュール	3~5 個 (同じタイプ)	—	—
Fabric-1 モジュール (N7K-C7018-FAB-1)		100 W	90 W
Fabric-2 モジュール (N7K-C7018-FAB-2)		150 W	110 W

表 A-10 Cisco Nexus 7018 システム コンポーネントの電力要件

コンポーネント	数量	最大	標準
ファントレイ (N7K-C7018-FAN)		—	—
すべてのファントレイ (合計)	2	1000 W	569 W

電源モジュール コンフィギュレーションモード

次の電源モードのいずれかを設定して、取り付けられた各電源モジュールから供給される電力を組み合わせる利用したり、電源ロスが発生した際の電源の冗長性を備えたりできます。

- 複合モード: 取り付けられたすべての電源モジュールから出力される電力を組み合わせるスイッチ動作に利用し、最大限の使用可能電力量を供給します。このモードには電源の冗長性はありません。
- 電源装置の冗長性モード: スイッチの動作中に電源モジュールを交換できます。すべての電源モジュールがアクティブになります。使用可能な電力は、すべての電源モジュール (N+1) から 1 つを除いた電源モジュールから出力される最小電力量として算出されます。予備電力は、最大電力を出力できる電源装置が出力する電力量となります。たとえば、3 つの電源モジュールの出力が 3 kW、6 kW、6 kW とすると、使用可能な電力は 9 kW (3 kW + 6 kW) となり、予備電力は 6 kW です。
- 入力電源の冗長性モード: 1 つのグリッドがダウンしても、もう 1 つのグリッドからスイッチに必要な電力を供給できるように、2 つの電力グリッドから電力が供給されます。Cisco Nexus 7004 シャーシの場合、各グリッドは電源モジュールの半分に電力を供給します。Cisco Nexus 7009、7010、7018 シャーシの場合、各グリッドは各電源モジュールの半分に給電します (グリッド A は各電源モジュールの Input 1 コンセントに接続され、グリッド B は各電源モジュールの Input 2 コンセントに接続されます)。使用可能な電力は、同じグリッドに接続された電源モジュールの一部から出力される電力量です。たとえば、3 つの電源モジュールが 110 V グリッドと 220 V グリッドに接続されている場合、各電源モジュールの出力は 110 V グリッドでは 1.2 kW、220 V グリッドでは 3.0 kW となります。使用可能な電力は 3.6 kW (1.2 kW + 1.2 kW + 1.2 kW) となり、予備電力は 9.0 kW (3.0 kW + 3.0 kW + 3.0 kW) です。
- 完全な冗長性モード: 電源の冗長性と入力電源の冗長性の両方を提供します。このモードでは、スイッチ動作を中断することなく電源モジュールを交換できます。また、2 つのグリッドのいずれかがダウンした場合でも、スイッチへの電力供給を継続できます。使用できる電力は、電源の冗長性または入力電源の冗長性のいずれか少ない方の出力総量となります。

Cisco Nexus 7000 シリーズ スイッチで使用可能な電力量は、電源モジュールの数、使用される入力電圧、および使用される電源モードによって異なります。電源モジュールの使用可能な電力量を確認するには、次の表を参照してください。

- 3 kW AC 電源モジュールの場合、表 A-11 を参照
- 6 kW AC 電源モジュールの場合、表 A-13 (A-20ページ) を参照
- 7.5 kW AC 電源モジュールの場合、表 A-14 (A-21ページ) を参照
- 3 kW DC 電源モジュールの場合、表 A-15 (A-22ページ) を参照
- 6 kW DC 電源モジュールの場合、表 A-17 (A-23ページ) を参照
- 3.5 kW HVAC/HVDC 電源モジュールの場合、表 A-12 (A-19ページ) および表 A-16 (A-22ページ) を参照

表 A-11 3 kW AC 電源モジュールで使用可能な電力量

電源入力	複合モード	電源の冗長性モード	入力電源の冗長性モード	完全な冗長性モード
電源モジュールあたりのシングル入力 ¹				
220 V 入力				
電源装置 1 台	3000 W	—	—	—
電源モジュール 2 つ	6000 W	3000 W	3000 W	3000 W
電源モジュール 3 つ	9000 W	6000 W	—	—
電源モジュール 4 つ	12,000 W	9000 W	6000 W	6000 W
110 V 入力				
電源装置 1 台	1450 W	—	—	—
電源モジュール 2 つ	2900 W	1450 W	1450 W	1450 W
電源モジュール 3 つ	4350 W	2900 W	—	—
電源モジュール 4 つ	5800 W	4350 W	2900 W	2900 W

1. Cisco Nexus 7004 では最大 4 つの 3.0 kW AC 電源モジュールが使用されます。

表 A-12 3.5 kW 入力(AC)で使用可能な電力量

電源入力	複合モード	電源の冗長性モード	入力電源の冗長性モード	完全な冗長性モード
電源モジュールあたりのシングル入力 ¹				
277 V 入力				
電源装置 1 台	3500 W	—	—	—
電源モジュール 2 つ	7000 W	3500 W	3500 W	3500 W
電源モジュール 3 つ	10,500 W	7000 W	—	—
電源モジュール 4 つ	14,000 W	10,500 W	7000 W	7000 W
220/230 V 入力				
電源装置 1 台	3500 W	—	—	—
電源モジュール 2 つ	7000 W	3500 W	3500 W	3500 W
電源モジュール 3 つ	10,500 W	7000 W	—	—
電源モジュール 4 つ	14,000 W	10,500 W	7000 W	7000 W
210 V 入力				
電源装置 1 台	3100 W	—	—	—
電源モジュール 2 つ	6200 W	3100 W	3100 W	3100 W

表 A-12 3.5 kW 入力(AC)で使用可能な電力量(続き)

電源入力	複合モード	電源の冗長性モード	入力電源の冗長性モード	完全な冗長性モード
電源モジュール 3 つ	9300 W	6200 W	—	—
電源モジュール 4 つ	12,400 W	9300 W	6200 W	6200 W
110 V 入力				
電源装置 1 台	1500 W	—	—	—
電源モジュール 2 つ	3000 W	1500 W	1500 W	1500 W
電源モジュール 3 つ	4500 W	3000 W	—	—
電源モジュール 4 つ	6000 W	4500 W	3000 W	3000 W

1. Cisco Nexus 7004 では最大 4 つの 3.5 kW 入力を使用されます。

表 A-13 6 kW AC 電源モジュールユニットで使用可能な電力

	複合モード	電源の冗長性モード	入力電源の冗長性モード	完全な冗長性モード
電源モジュールあたりのデュアル入力				
220 V 入力および 220 V 入力				
電源装置 1 台	6000 W	—	3000 W	—
電源モジュール 2 つ ¹	12,000 W	6000 W	6000 W	6000 W
電源モジュール 3 つ ¹	18,000 W	12,000 W	9000 W	9000 W
電源モジュール 4 つ ¹	24,000 W	18,000 W	12,000 W	12,000 W
110 V 入力および 220 V 入力				
電源装置 1 台	4200 W	—	1200 W	—
電源モジュール 2 つ ¹	8400 W	4200 W	2400 W	2400 W
電源モジュール 3 つ ¹	12,600 W	8400 W	3600 W	3600 W
電源モジュール 4 つ ¹	16,800 W	12,600 W	4800 S	4800 W
110 V 入力および 110 V 入力				
電源装置 1 台	2400 W	—	1200 W	—
電源モジュール 2 つ ¹	4800 W	2400 W	2400 W	2400 W
電源モジュール 3 つ ¹	7200 W	4800 W	3600 W	3600 W
電源モジュール 4 つ ¹	9600 W	7200 W	4800 W	4800 W
電源モジュールあたりのシングル入力				
220 V 入力				
電源装置 1 台	3000 W	—	—	—
電源モジュール 2 つ ¹	6000 W	3000 W	—	—

表 A-13 6 kW AC 電源モジュールユニットに使用可能な電力(続き)

	複合 モード	電源の冗長 性モード	入力電源 の冗長性 モード	完全な冗長 性モード
電源モジュール 3 つ ¹	9000 W	6000 W	—	—
電源モジュール 4 つ ¹	12,000 W	9000 W	—	—
110 V 入力				
電源装置 1 台	1200 W	—	—	—
電源モジュール 2 つ ¹	2400 W	1200 W	—	—
電源モジュール 3 つ ¹	3600 W	2400 W	—	—
電源モジュール 4 つ ¹	4800 W	3600 W	—	—

1. Cisco Nexus 7018 スイッチでは最大 4 つの 6 kW 電源モジュール、Cisco Nexus 7010 スイッチでは最大 3 つの 6 kW 電源モジュール、Cisco Nexus 7009 では最大 2 つの 6 kW 電源モジュールが使用されます。

表 A-14 7.5 kW AC 電源モジュールで使用可能な電力量

	複合 モード	電源 サプライ 冗長性 モード	入力電源の 冗長性 モード	全二重 冗長性 モード
電源モジュールあたりのデュアル 入力				
220 V 入力および 220 V 入力				
電源装置 1 台	7500 W	—	3750 W	—
電源モジュール 2 つ ¹	15,000 W	7500 W	7500 W	7500 W
電源モジュール 3 つ ¹	22,500 W	15,000 W	11,250 W	11,250 W
電源モジュール 4 つ ¹	30,000 W	22,500 W	15,000 W	15,000 W
電源モジュールあたりのシングル 入力				
220 V 入力				
電源装置 1 台	3750 W	—	—	—
電源モジュール 2 つ ¹	7500 W	3750 W	—	—
電源モジュール 3 つ ¹	11,250 W	7500 W	—	—
電源モジュール 4 つ ¹	15,000 W	11,250 W	—	—

1. Cisco Nexus 7018 スイッチでは最大 4 つの 7.5 kW 電源モジュール、Cisco Nexus 7010 スイッチでは最大 3 つの 7.5 kW 電源モジュール、Cisco Nexus 7009 では最大 2 つの 7.5 kW 電源モジュールが使用されます。

表 A-15 3.0 kW DC 電源モジュールで使用可能な電力量

電源入力	複合モード	電源サプライ冗長性モード	入力電源の冗長性モード	全二重冗長性モード
電源モジュールあたりのデュアル入力 ¹	3,000 W	—	—	—
電源装置 1 台	6,000 W	3,000 W	3,000 W	3,000 W
電源モジュール 2 つ	9,000 W	6,000 W	3,000 W	3,000 W
電源モジュール 3 つ	12,000 W	9,000 W	6,000 W	6,000 W
電源モジュール 4 つ				

1. Cisco Nexus 7004 では最大 4 つの 3.0 kW DC 電源モジュールが使用されます。

表 A-16 3.5 kW 入力(DC)で使用可能な電力量

電源入力	複合モード	電源サプライ冗長性モード	入力電源の冗長性モード	全二重冗長性モード
電源モジュールあたりのデュアル入力 ¹				
380 V 入力	3,500 W	—	—	—
電源装置 1 台	7,000 W	3,500 W	3,500 W	3,500 W
電源モジュール 2 つ	10,500 W	7,000 W	3,500 W	3,500 W
電源モジュール 3 つ	14,000 W	10,500	7,000 W	7,000 W
電源モジュール 4 つ				
220/240 V 入力				
電源装置 1 台	3,500 W	—	—	—
電源モジュール 2 つ	7,000 W	3,500 W	3,500 W	3,500 W
電源モジュール 3 つ	10,500 W	7,000 W	3,500 W	3,500 W
電源モジュール 4 つ	14,000 W	10,500	7,000 W	7,000 W
電源モジュール 4 つ				
210 V 入力				
電源装置 1 台	3,100 W	—	—	—
電源モジュール 2 つ	6,200 W	3,100 W	3,100 W	3,100 W
電源モジュール 3 つ	9,300 W	6,200 W	3,100 W	3,100 W
電源モジュール 4 つ	12,400 W	9,300 W	6,200 W	6,200 W

1. Cisco Nexus 7004 では最大 4 つの 3.5 kW DC 電源モジュールが使用されます。

表 A-17 6.0 kW DC 電源モジュールユニットに使用可能な電力量

電源入力	複合モード	電源サプライ冗長性モード	入力電源の冗長性モード	全二重冗長性モード
電源モジュールあたりのデュアル入力	6,000 W	—	3,000 W	—
電源装置 1 台	12,000 W	6,000 W	6,000 W	6,000 W
電源モジュール 2 つ ¹	18,000 W	12,000 W	9,000 W	9,000 W
電源モジュール 3 つ ¹	24,000 W	18,000 W	12,000 W	12,000 W
電源モジュール 4 つ ¹				
電源モジュールあたりのシングル入力	3,000 W	—	—	—
電源装置 1 台	6,000 W	3,000 W	—	—
電源モジュール 2 つ ¹	9,000 W	6,000 W	—	—
電源モジュール 3 つ ¹	12,000 W	9,000 W	—	—
電源モジュール 4 つ ¹				

1. Cisco Nexus 7018 スイッチでは最大 4 つの 6 kW 電源モジュール、Cisco Nexus 7010 スイッチでは最大 3 つの 6 kW 電源モジュール、Cisco Nexus 7009 では最大 2 つの 6 kW 電源モジュールが使用されます。

電源モジュールケーブル仕様

電源モジュールケーブルの仕様については、次の表を参照してください。

- 表 A-18(A-24ページ): 3 kW および 6 kW AC 電源コードについて
- 表 A-19(A-28ページ): 3.5 kW HVAC/HVDC 電源モジュールの AC 電源コードについて
- 表 A-20(A-40ページ): 7.5 kW AC 電源コードについて
- 表 A-21(A-41ページ): 3 kW DC 電源コードについて
- 表 A-22(A-41ページ): 3.5 kW HVAC/HVDC 電源モジュールの DC 電源コードについて
- 表 A-23(A-43ページ): 6 kW DC 電源コードについて



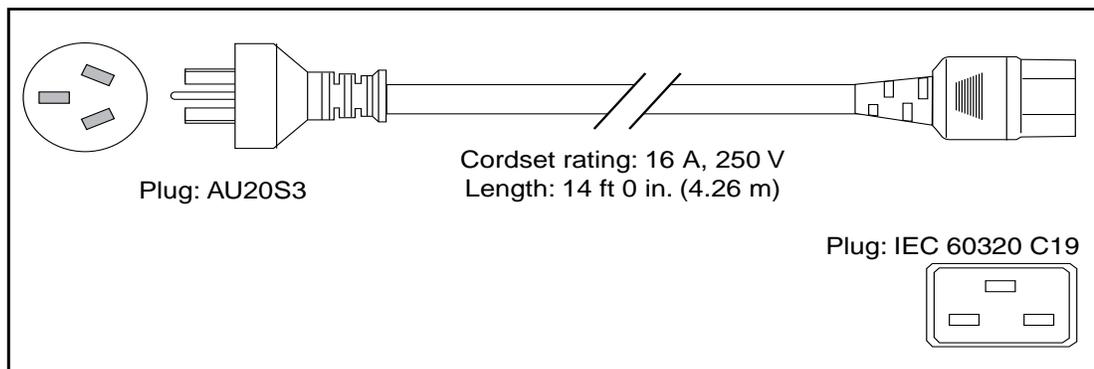
(注)

システムのオプションの電源コードを注文しない場合は、ユーザの責任で製品に適した電源コードを選択します。この製品と互換性がない電源コードを使用すると、電気の安全性に関する危険が生じる可能性があります。アルゼンチン、ブラジル、および日本向けの注文では、システムとともに注文される適切な電源コードが必要です。

表 A-18 3-kW および 6-kW AC 電源モジュールの電源コード

ロケール	電源コード部品番号	コードセット 定格	電源コード の参照図
オーストラリアおよびニュージーランド	CAB-AC-16A-AUS	16A、250 VAC	☒ A-1
中国	CAB-AC-16A-CH	16A、250 VAC	☒ A-2
ヨーロッパ大陸	CAB-AC-2500W-EU	16A、250 VAC	☒ A-3
国際	CAB-AC-2500W-INT	16A、250 VAC	☒ A-4
イスラエル	CAB-AC-2500W-ISRL	16A、250 VAC	☒ A-5
日本および北米(ロックなし)200 ~ 240 VAC 動作	CAB-9K16A-US1	16A、250 VAC	☒ A-6
日本および北米(ロックあり)200 ~ 240 VAC 動作	CAB-AC-C6K-TWLK	16A、250 VAC	☒ A-7
日本および北米 100 ~ 120 VAC 動作	CAB-7513AC	16A、250 VAC	☒ A-8
韓国	CAB-9K16A-KOR	16A、250 VAC	☒ A-9
配電ユニット (PDU)	CAB-C19-CBN	16A、250 VAC	☒ A-10
スイス	CAB-ACS-16	16A、250 VAC	☒ A-11

図 A-1 3 kW および 6 kW AC 電源モジュールユニット用 CAB-AC-16A-AUS 電源コードおよびプラグ



140586

図 A-2 3 kW および 6 kW AC 電源モジュールユニット用 CAB-AC-16A-CH 電源コードおよびプラグ

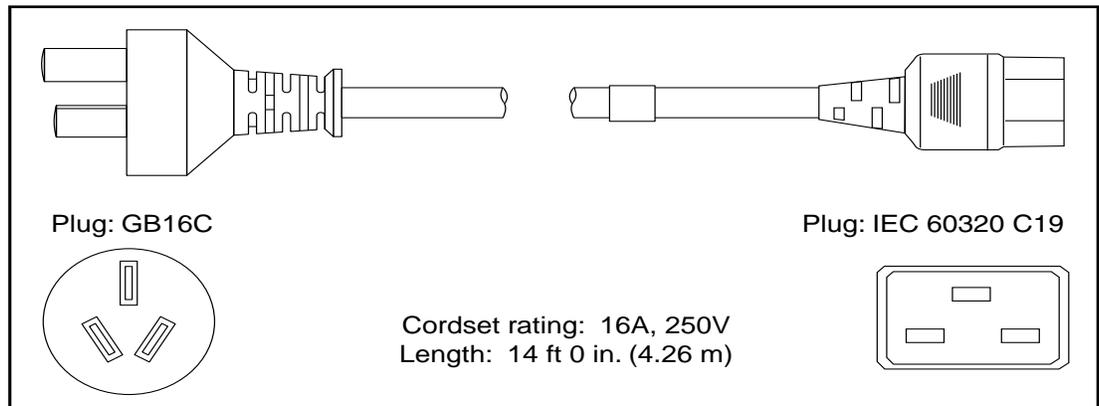


図 A-3 3 kW および 6 kW AC 電源モジュールユニット用 CAB-AC-2500W-EU 電源コードおよびプラグ

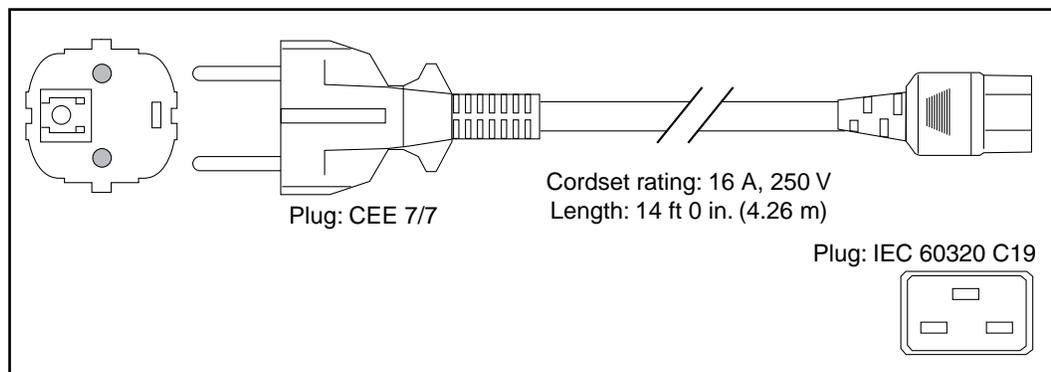


図 A-4 3 kW および 6 kW AC 電源モジュールユニット用 CAB-AC-2500W-INT 電源コードおよびプラグ

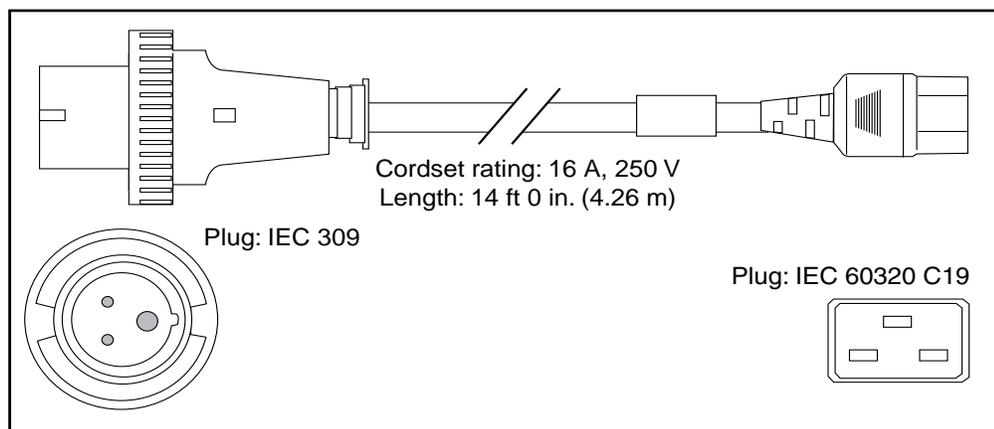


図 A-5 3 kW および 6 kW AC 電源モジュールユニット用 CAB-AC-2500W-ISRL 電源コードおよびプラグ

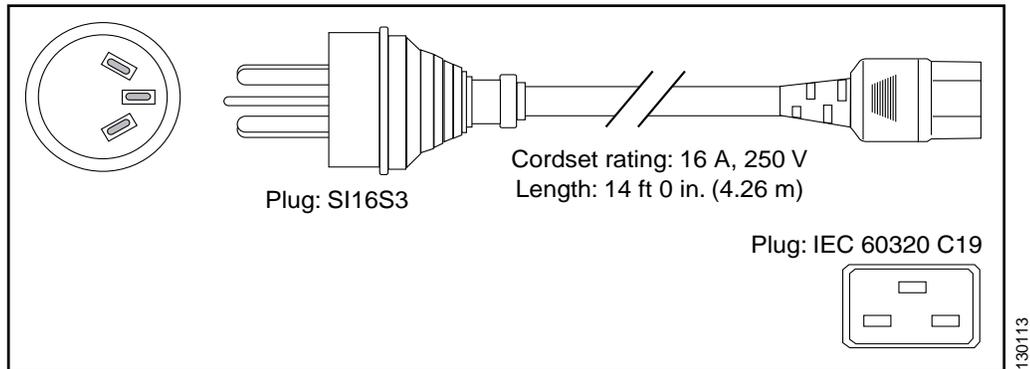


図 A-6 3 kW および 6 kW AC 電源モジュールユニット用 CAB-9K16A-US1 電源コードおよびプラグ

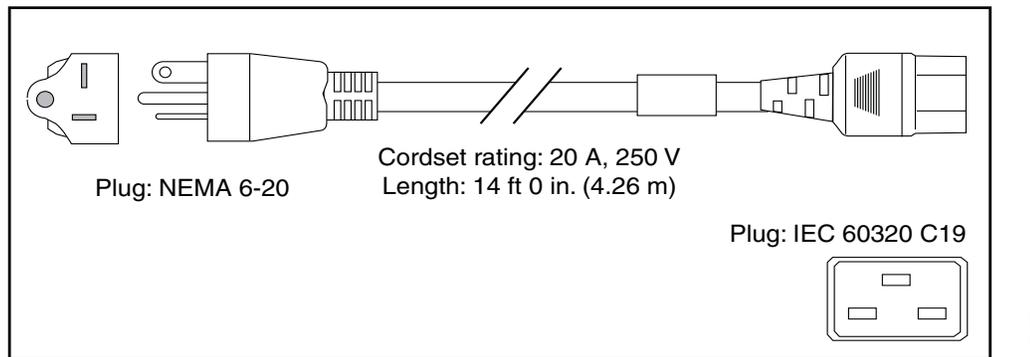


図 A-7 3 kW および 6 kW AC 電源モジュールユニット用 CAB-AC-C6K-TWLK 電源コードおよびプラグ

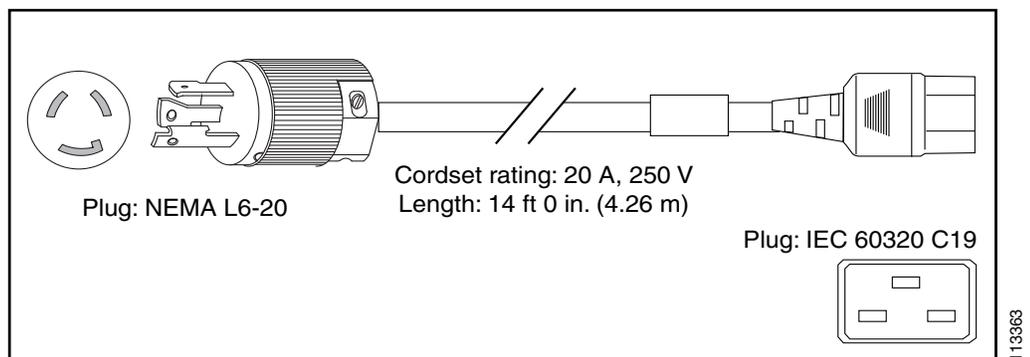


図 A-8 3 kW および 6 kW AC 電源モジュールユニット用 CAB-7513AC 電源コードおよびプラグ

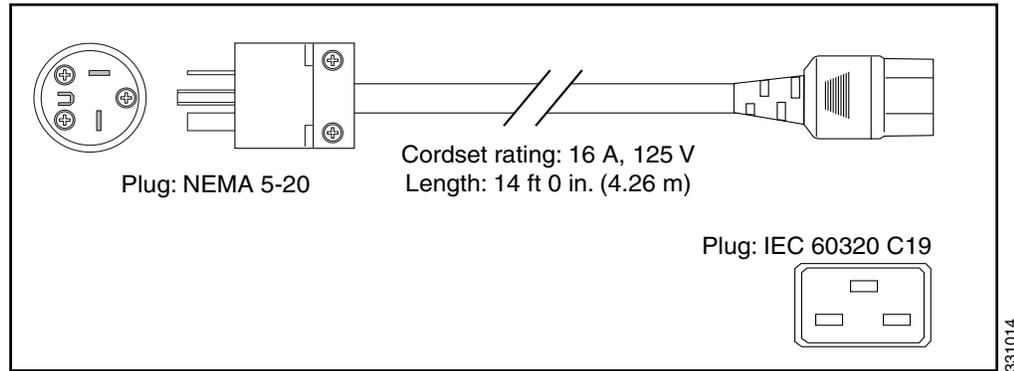


図 A-9 3 kW および 6 kW AC 電源モジュールユニット用 CAB-9K16A-KOR 電源コードおよびプラグ

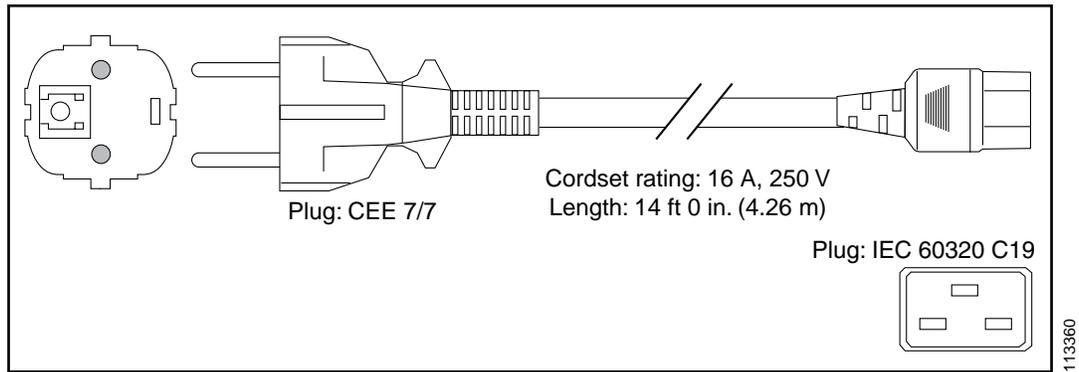


図 A-10 3 kW および 6 kW AC 電源モジュールユニット用 CAB-C19-CBN 電源コードおよびプラグ

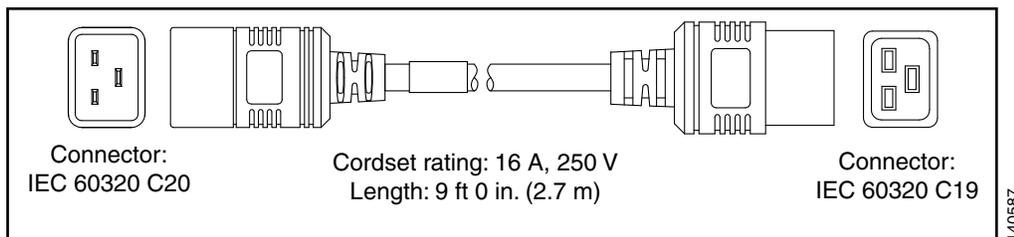


図 A-11 3 kW および 6 kW AC 電源モジュールユニット用 CAB-ACS-16 電源コードおよびプラグ

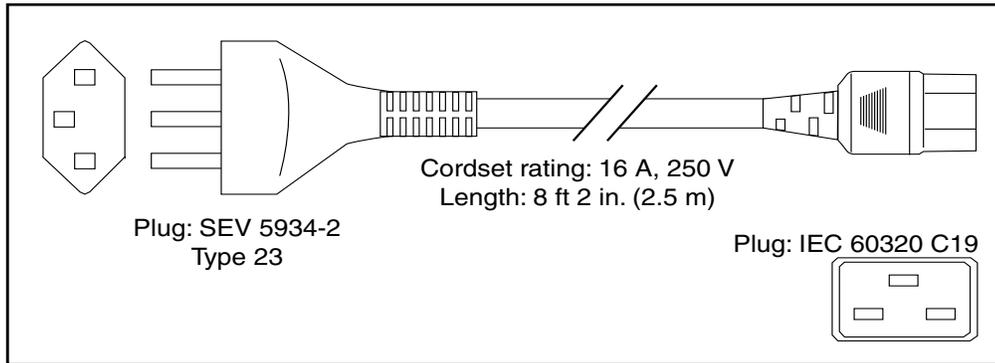


図 A-12 3 kW および 6 kW AC 電源モジュールユニット用 CAB-AC-16A-AUS 電源コードおよびプラグ

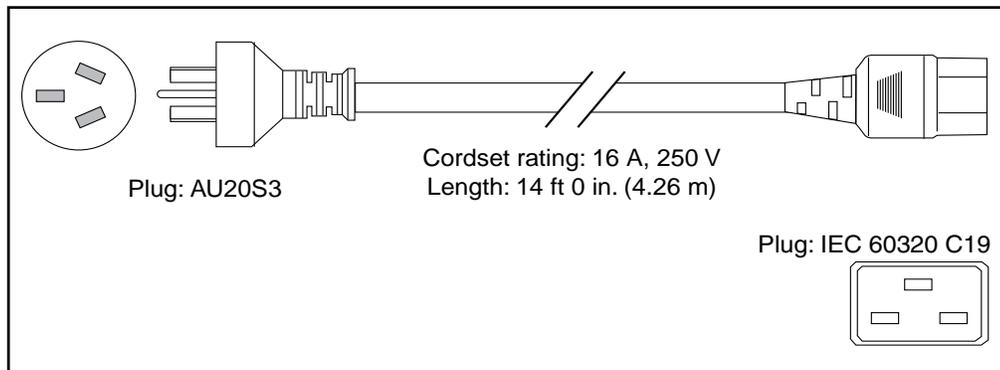


表 A-19 3.5 kW HVAC/HVDC 電源モジュールの AC 電源コード

ロケール	電源モジュールの部品番号	シスコ製品番号 (CPN)	長さ	コード定格	電源コードの参照図
アルゼンチン	CAB-AC-16A-SG-AR	37-1649-01	14 フィート 0 インチ (4.26 m)	16A、250 VAC	図 A-13
オーストラリアおよび ニュージーランド	CAB-AC-16A-SG-AZ	37-1661-01	14 フィート 0 インチ (4.26 m)	16A、250 VAC	図 A-14
ブラジル	CAB-AC-16A-SG-BR	37-1650-01	14 フィート 0 インチ (4.26 m)	16A、250 VAC	図 A-15

表 A-19 3.5 kW HVAC/HVDC 電源モジュールの AC 電源コード(続き)

ロケール	電源モジュールの部品番号	シスコ製品番号 (CPN)	長さ	コード定格	電源コードの参照図
中国	CAB-AC-16A-SG-CH	37-1655-01	14 フィート 0 インチ (4.26 m)	16A、250 VAC	図 A-16
ヨーロッパ大陸	CAB-AC-16A-SG-EU	37-1660-01	14 フィート 0 インチ (4.26 m)	16A、250 VAC	図 A-17
インド	CAB-AC-16A-SG-IND	37-1648-01	14 フィート 0 インチ (4.26 m)	16A、250 VAC	図 A-18
International	CAB-AC-16A-SG-IN	37-1659-01	14 フィート 0 インチ (4.26 m)	16A、250 VAC	図 A-19
イスラエル	CAB-AC-16A-SG-IS	37-1658-01	14 フィート 0 インチ (4.26 m)	16A、250 VAC	図 A-20
イタリア	CAB-AC-16A-SG-IT	37-1651-01	14 フィート 0 インチ (4.26 m)	16A、250 VAC	図 A-21
北米(非ロックン 110 VAC 動作	CAB-AC-20A-SG-US	37-1662-01	14 フィート 0 インチ (4.26 m)	20A、110 VAC	図 A-22
北米(非ロックン 125 VAC 動作	CAB-AC-20A-SG-U S1	37-1652-01	14 フィート 0 インチ (4.26 m)	20A、125 VAC	図 A-23
北米(非ロックン 200 ~ 240 VAC 動作	CAB-AC-20A-SG-U S2	37-1657-01	14 フィート 0 インチ (4.26 m)	20A、250 VAC	図 A-24
北米(ロックン 200 ~ 240 VAC 動作	CAB-AC-20A-SG-U S3	37-1656-01	14 フィート 0 インチ (4.26 m)	20A、250 VAC	図 A-25
北米 277 VAC 動作	CAB-AC-20A-SG-US4	37-1645-01	14 フィート 0 インチ (4.26 m)	20A、277 VAC	図 A-26
北米キャビネット ジャンパ配電ユニット (PDU)	CAB-AC-20A-SG-C20	37-1653-01	14 フィート 0 インチ (4.26 m)	20A、250 VAC	図 A-27
南アフリカ	CAB-AC-16A-SG-SA	37-1647-01	14 フィート 0 インチ (4.26 m)	16A、250 VAC	図 A-28
韓国	CAB-AC-16A-SG-SK	37-1646-01	14 フィート 0 インチ (4.26 m)	16A、250 VAC	図 A-29

表 A-19 3.5 kW HVAC/HVDC 電源モジュールの AC 電源コード(続き)

ロケール	電源モジュールの部品番号	シスコ製品番号 (CPN)	長さ	コード定格	電源コードの参照図
スイス	CAB-AC-16A-SG-SW	37-1654-01	14フィート 0インチ (4.26 m)	16A、250 VAC	☒ A-30
国際、IEC/EU、リング端子電源プラグ	CAB-HV-25A-SG-IN2	37-1640-01	14フィート 0インチ (4.26 m)	20A、300 VAC/500 VDC	☒ A-31
国際、IEC/EU	CAB-HV-25A-SG-IN3	37-100904-01	14フィート 0インチ (4.26 m)	20A、300 VAC	☒ A-32
北米、リング端子電源プラグ	CAB-HV-25A-SG-US2	37-1641-01	14フィート 0インチ (4.26 m)	20A、300 VAC/500 VDC	☒ A-33
北米	CAB-HV-25A-SG-US5	37-100903-01	14フィート 0インチ (4.26 m)	20A、300 VAC	☒ A-34



(注) お客様向け出荷開始 (FCS) で、すべてのケーブルを注文できるわけではありません。

図 A-13 3.5 kW HVAC/HVDC 電源モジュールユニット用 CAB-AC-16A-SG-AR 電源コードおよびプラグ

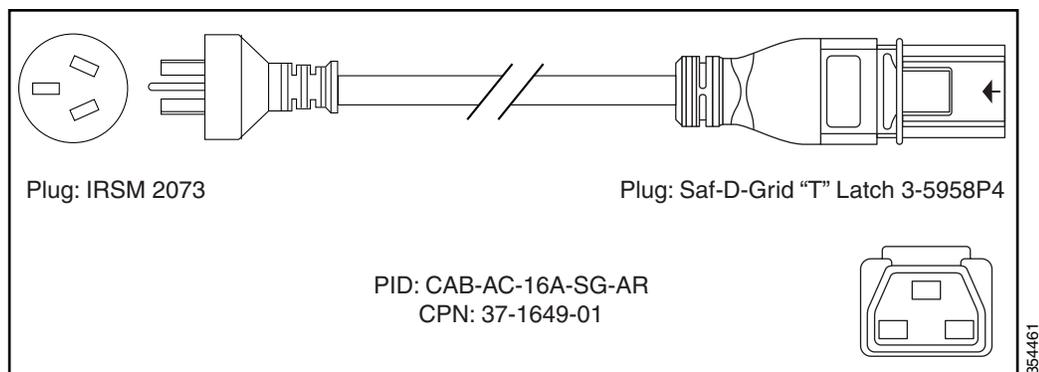


図 A-14 3.5 kW HVAC/HVDC 電源モジュールユニット用 CAB-AC-16A-SG-AZ 電源コードおよびプラグ

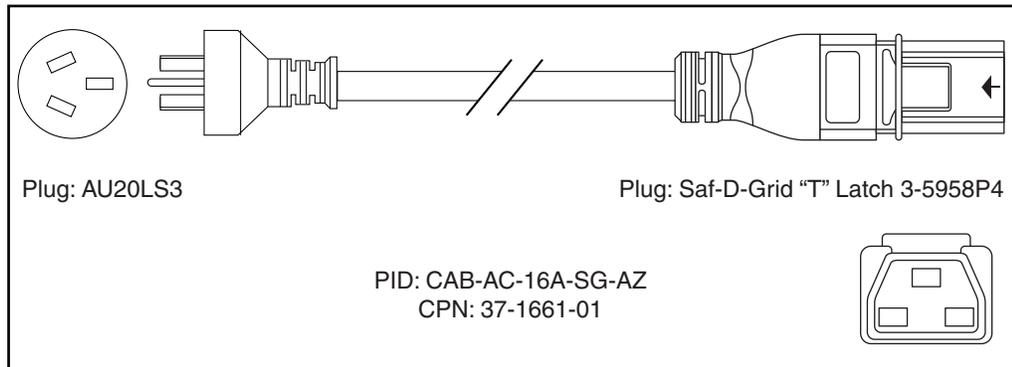


図 A-15 3.5 kW HVAC/HVDC 電源モジュールユニット用 CAB-AC-16A-SG-BR 電源コードおよびプラグ

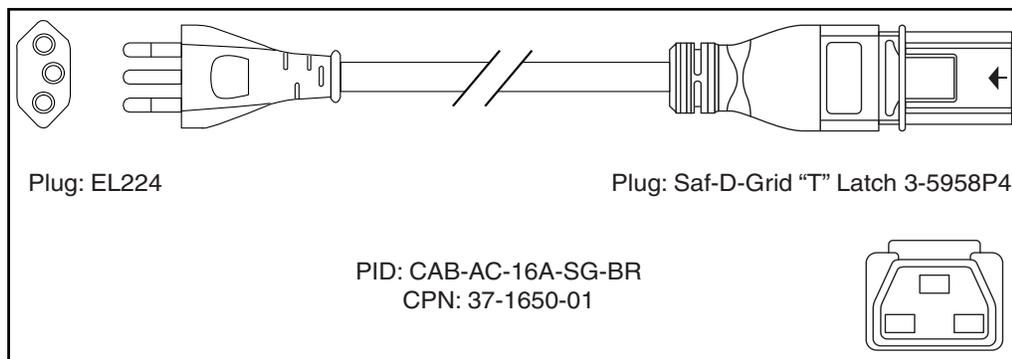


図 A-16 3.5 kW HVAC/HVDC 電源モジュールユニット用 CAB-AC-16A-SG-CH 電源コードおよびプラグ

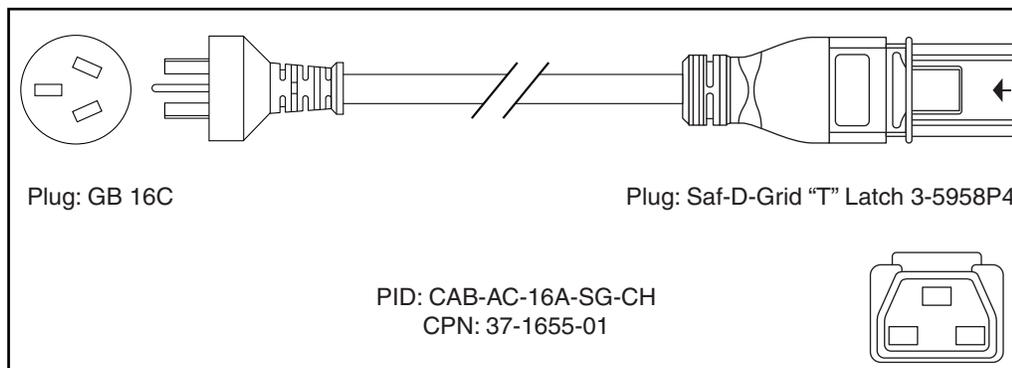


図 A-17 3.5 kW HVAC/HVDC 電源モジュールユニット用 CAB-AC-16A-SG-EU 電源コードおよびプラグ

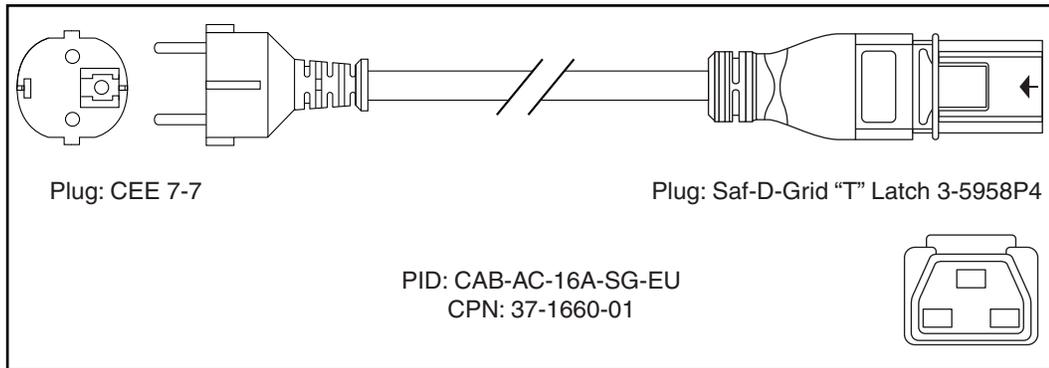


図 A-18 3.5 kW HVAC/HVDC 電源モジュールユニット用 CAB-AC-16A-SG-IND 電源コードおよびプラグ

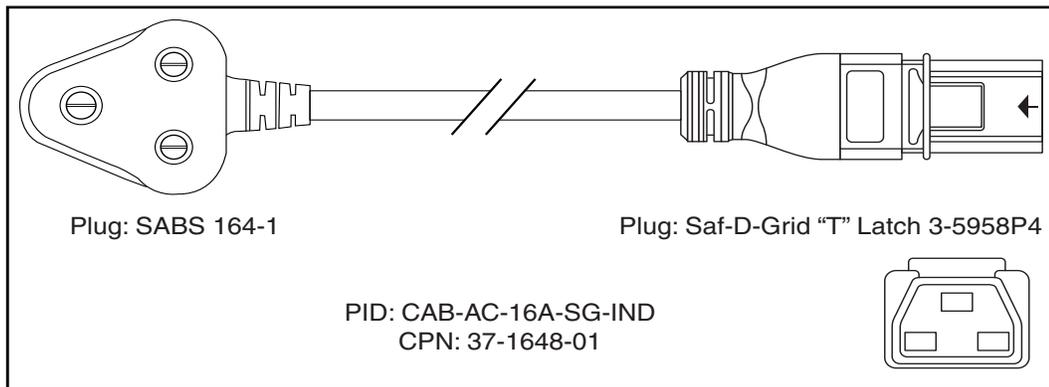


図 A-19 3.5 kW HVAC/HVDC 電源モジュールユニット用 CAB-AC-16A-SG-IN 電源コードおよびプラグ

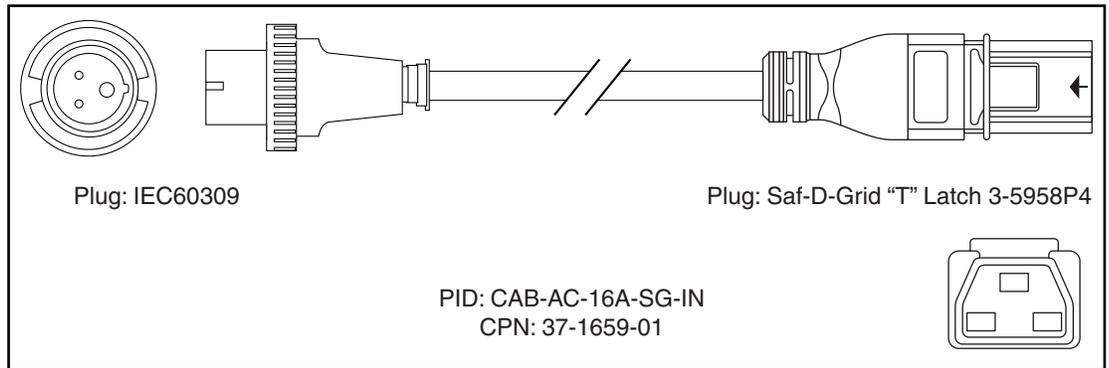


図 A-20 3.5 kW HVAC/HVDC 電源モジュールユニット用 CAB-AC-16A-SG-IS 電源コードおよびプラグ

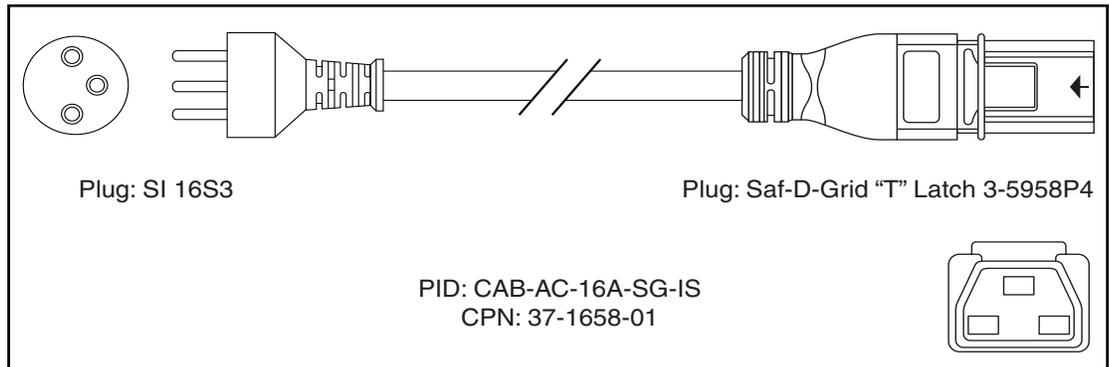


図 A-21 3.5 kW HVAC/HVDC 電源モジュールユニット用 CAB-AC-16A-SG-IT 電源コードおよびプラグ

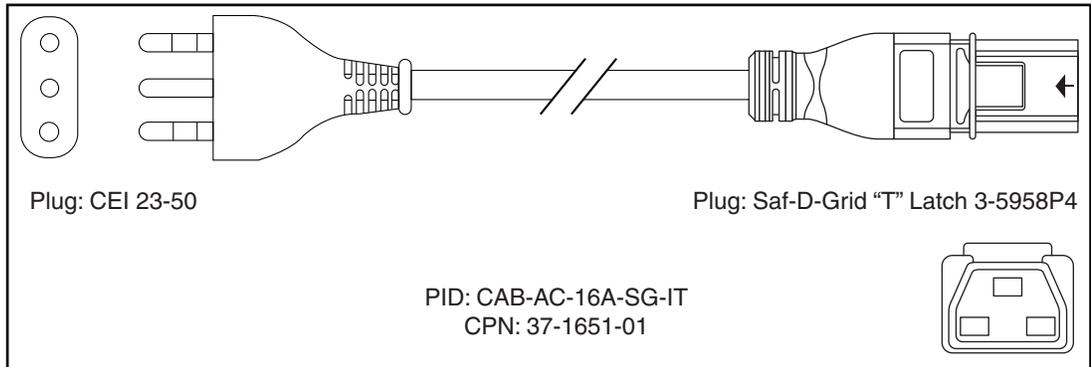


図 A-22 3.5 kW HVAC/HVDC 電源モジュールユニット用 CAB-AC-20A-SG-US 電源コードおよびプラグ

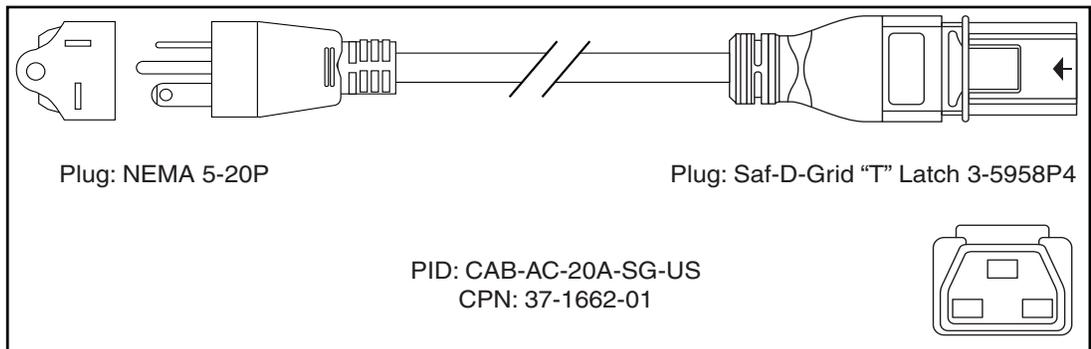
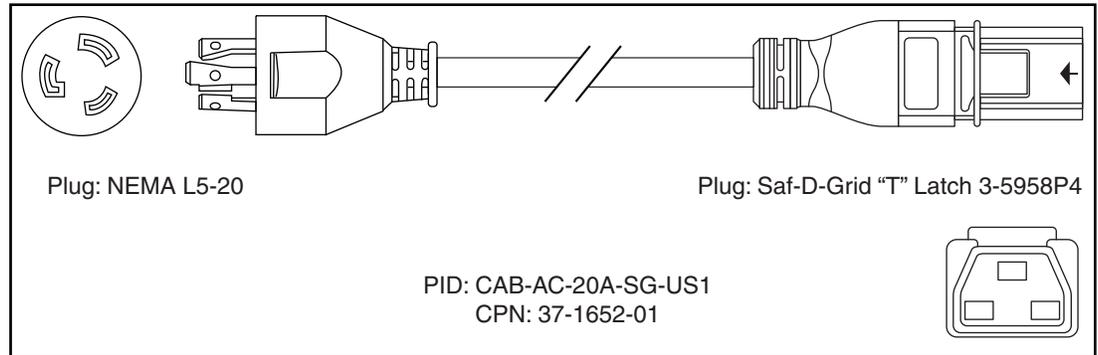
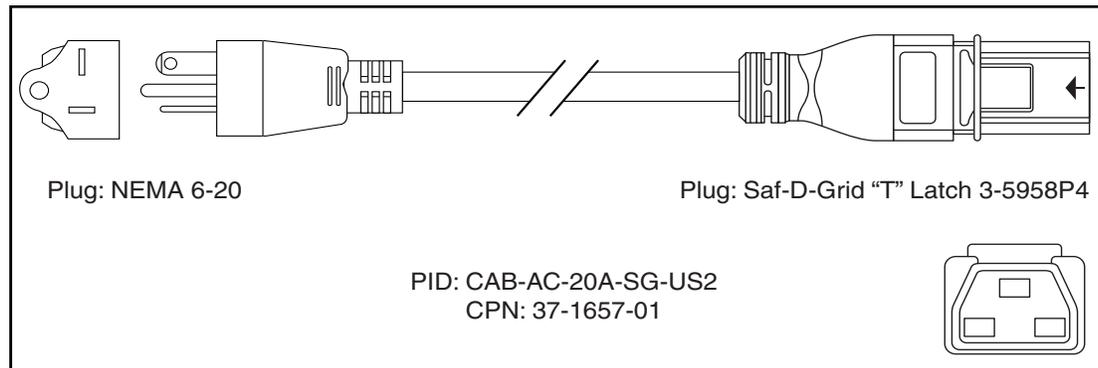


図 A-23 3.5 kW HVAC/HVDC 電源モジュールユニット用 CAB-AC-20A-SG-US1 電源コードおよびプラグ



354474

図 A-24 3.5 kW HVAC/HVDC 電源モジュールユニット用 CAB-AC-20A-SG-US2 電源コードおよびプラグ



354475

図 A-25 3.5 kW HVAC/HVDC 電源モジュールユニット用 CAB-AC-20A-SG-US3 電源コードおよびプラグ

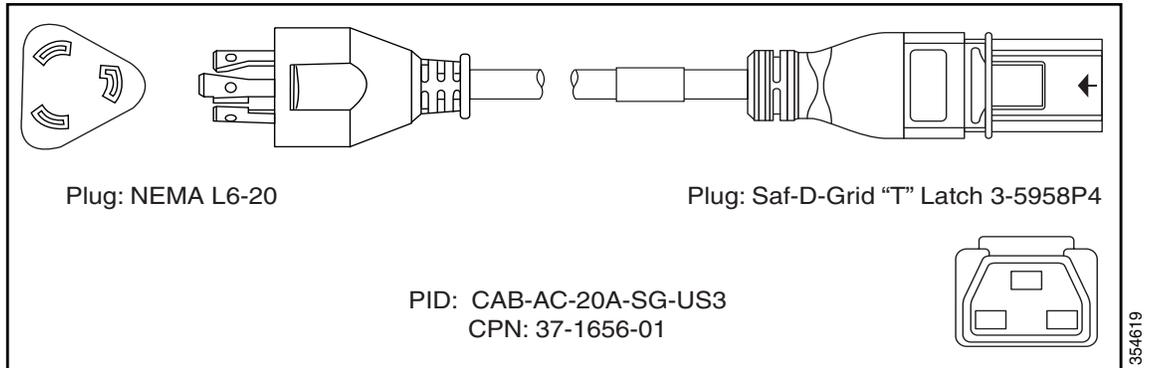


図 A-26 3.5 kW HVAC/HVDC 電源モジュールユニット用 CAB-AC-20A-SG-US4 電源コードおよびプラグ

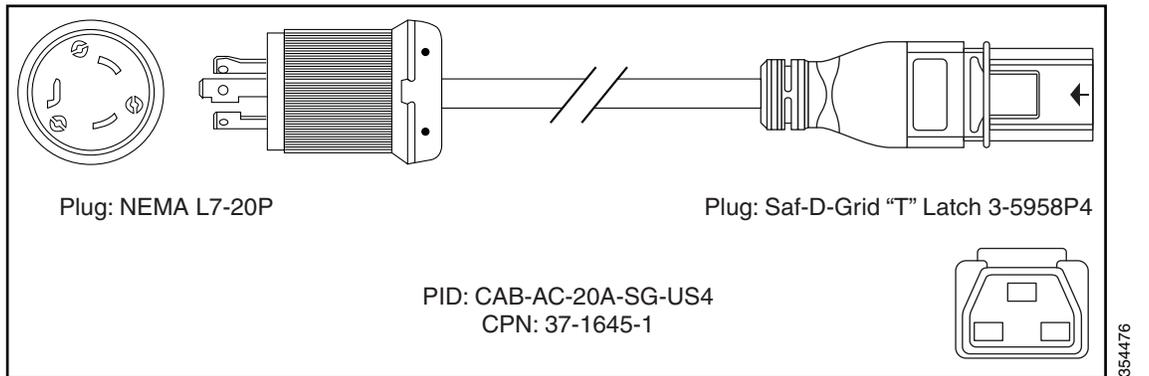


図 A-27 3.5 kW HVAC/HVDC 電源モジュールユニット用 CAB-AC-20A-SG-C20 電源コードおよびプラグ

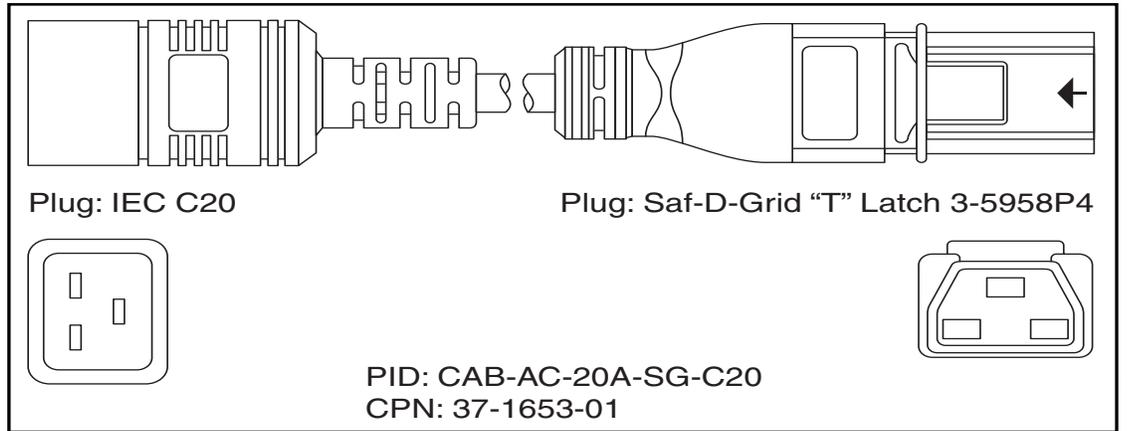


図 A-28 3.5 kW HVAC/HVDC 電源モジュールユニット用 CAB-AC-16A-SG-SA 電源コードおよびプラグ

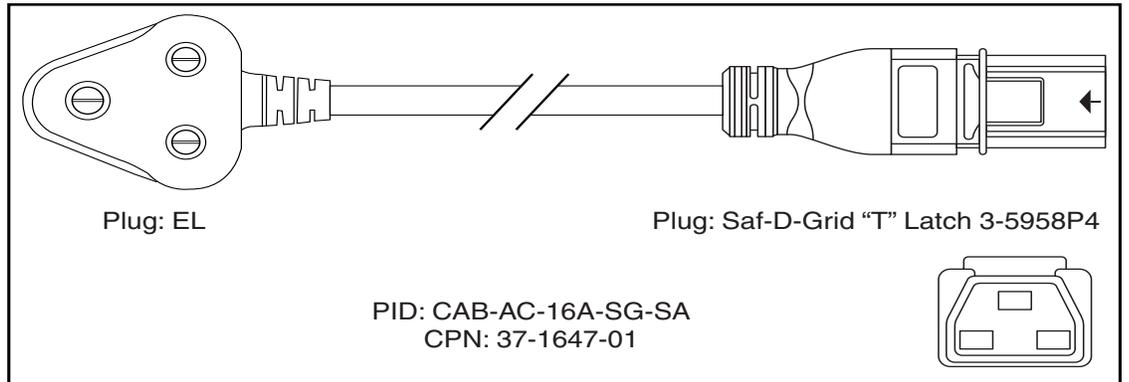


図 A-29 3.5 kW HVAC/HVDC 電源モジュールユニット用 CAB-AC-16A-SG-SK 電源コードおよびプラグ

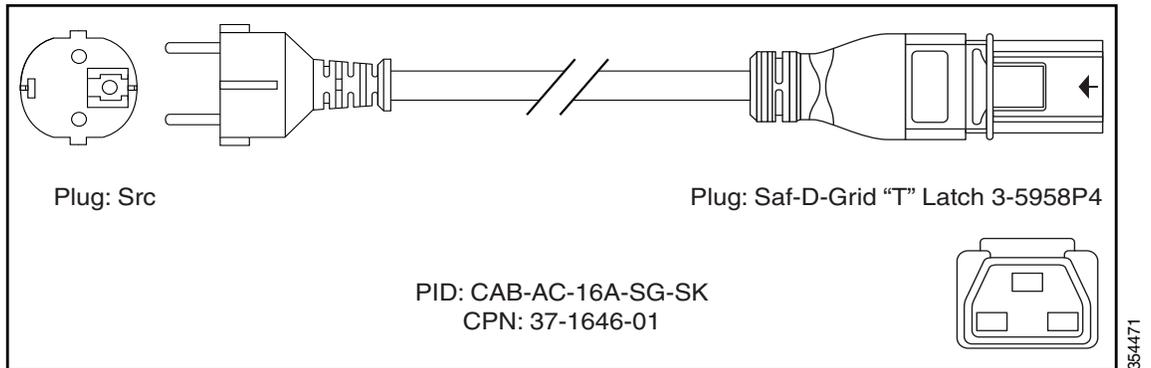


図 A-30 3.5 kW HVAC/HVDC 電源モジュールユニット用 CAB-AC-16A-SG-SW 電源コードおよびプラグ

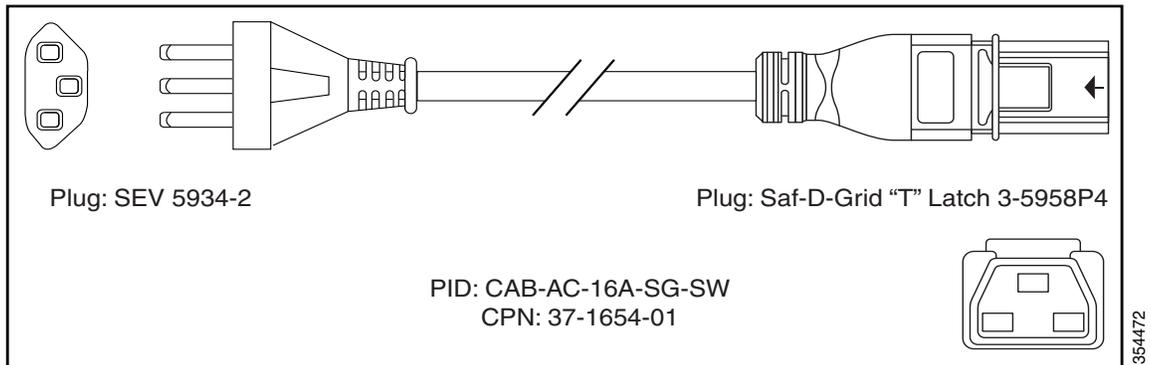


図 A-31 3.5 kW HVAC/HVDC 電源モジュールユニット用 CAB-HV-25A-SG-IN2 電源コードおよびプラグ

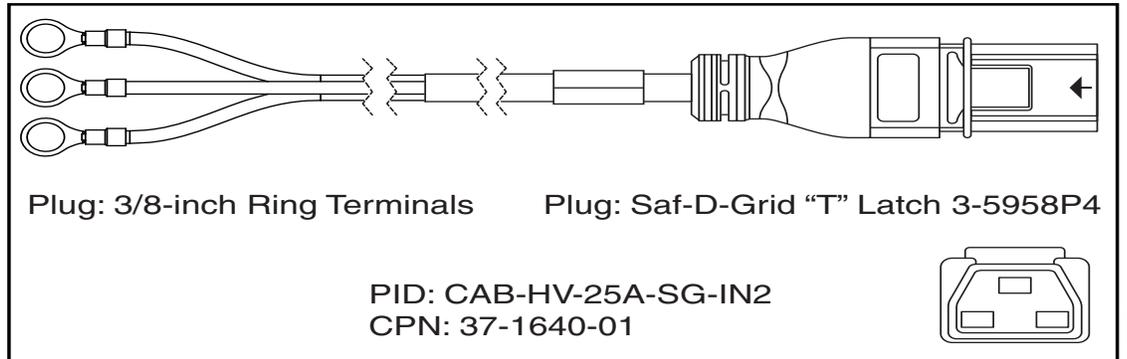


図 A-32 3.5 kW HVAC/HVDC 電源モジュールユニット用 CAB-HV-25A-SG-IN3 電源コードおよびプラグ

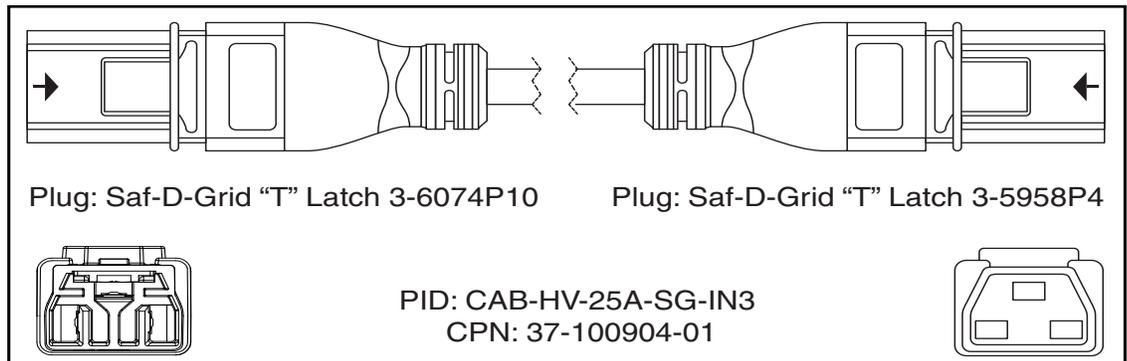
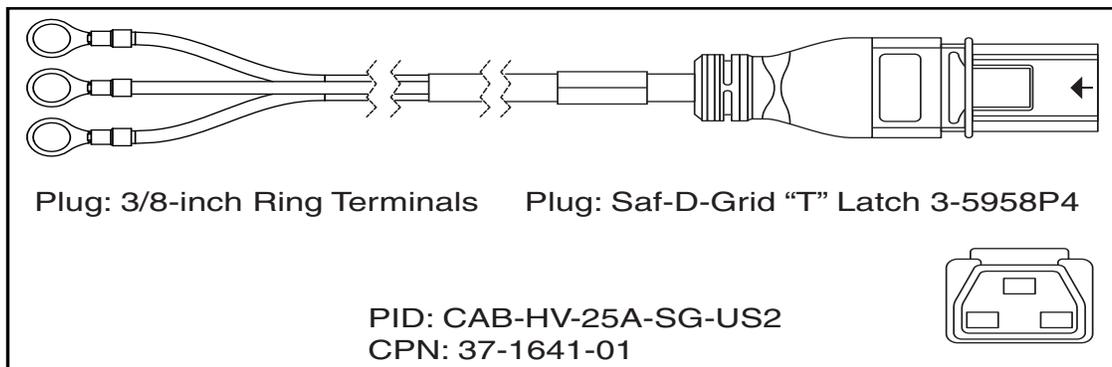
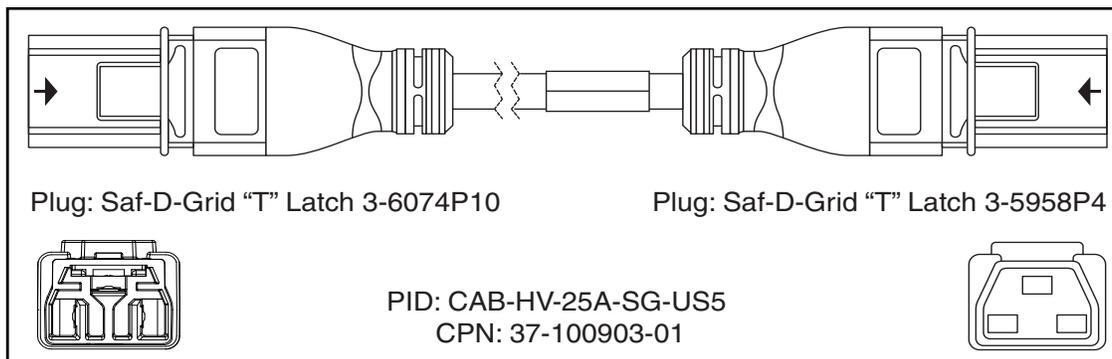


図 A-33 3.5 kW HVAC/HVDC 電源モジュールユニット用 CAB-HV-25A-SG-US2 電源コードおよびプラグ



349332

図 A-34 3.5 kW HVAC/HVDC 電源モジュールユニット用 CAB-HV-25A-SG-US5 電源コードおよびプラグ

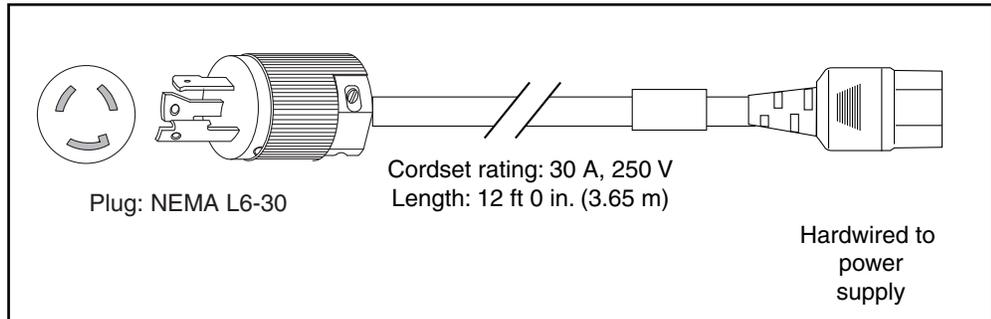


354478

表 A-20 75 kW AC 電源モジュールユニットの電源コード

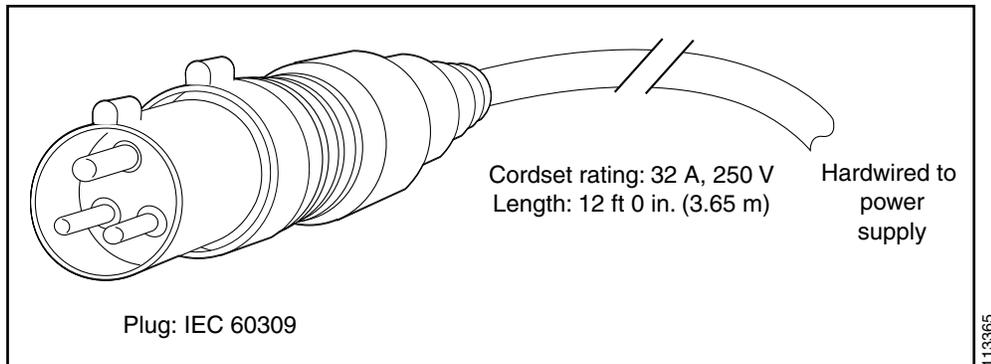
ロケール	電源モジュールの部品番号	コード定格	電源コードの参照図
日本および北米	N7K-AC-7.5KW-US	30A、250 VAC	図 A-35
International	N7K-AC-7.5KW-INT	32A、250 VAC	図 A-36

図 A-35 75 kW AC 電源モジュールユニット用 NEMA L6-30 電源コネクタ



86

図 A-36 75 kW AC 電源モジュールユニット用 IEC 603090 電源コネクタ



113365

表 A-21 3 kW DC 電源モジュールユニットの電源コード

ロケール	部品番号	コード定格	電源コードのコメント
すべて (All)	— ¹	45 A	6 AWG

1. 3 kW DC 電源で使用される電源コードは、お客様側で用意してください。

表 A-22 3.5 kW HVAC/HVDC 電源モジュールの DC 電源コード

ロケール	部品番号	シスコ製品番号 (CPN)	長さ	コード定格	電源コードの参照図
北米	CAB-HV-25A-SG-US1	37-1643-01	14 フィート 0 インチ (4.26 m)	20 A、400 VDC	図 A-37
北米、リング端子電源プラグ	CAB-HV-25A-SG-US2	37-1641-01	14 フィート 0 インチ (4.26 m)	20A、300 VAC/500 VDC	図 A-38

表 A-22 3.5 kW HVAC/HVDC 電源モジュールの DC 電源コード(続き)

ロケール	部品番号	シスコ製品番号 (CPN)	長さ	コード定格	電源コードの参照図
国際	CAB-HV-25A-SG-IN1	37-1642-01	14 フィート 0 インチ (4.26 m)	20 A、400 VDC	図 A-39
国際、リング端子電源プラグ	CAB-HV-25A-SG-IN2	37-1640-01	14 フィート 0 インチ (4.26 m)	20A、300 VAC/500 VDC	図 A-40



(注) お客様向け出荷開始(FCS)で、すべてのケーブルを注文できるわけではありません。

図 A-37 3.5 kW HVAC/HVDC 電源モジュール用 CAB-HV-25A-SG-US1 電源コードおよびプラグ

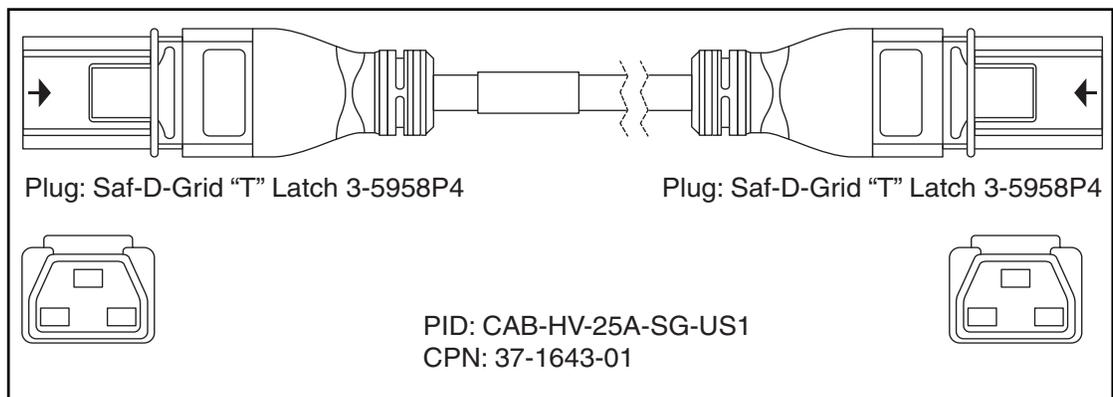


図 A-38 3.5 kW HVAC/HVDC 電源モジュール用 CAB-HV-25A-SG-US2 電源コードおよびプラグ

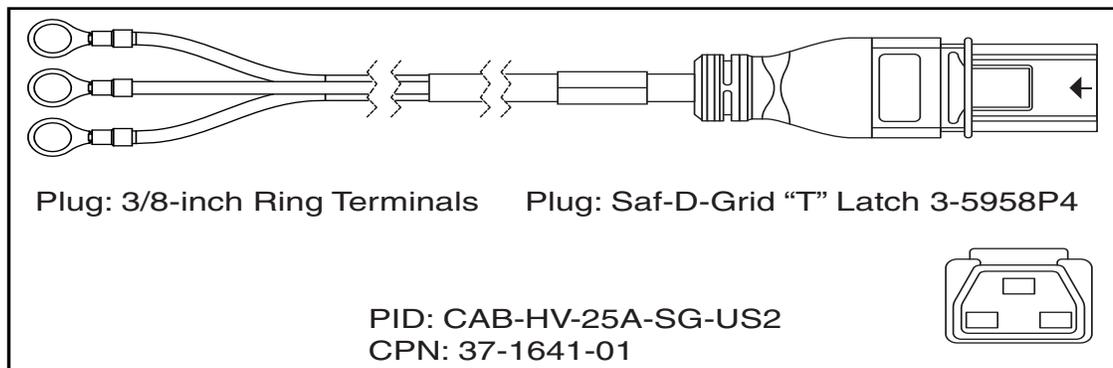


図 A-39 3.5 kW HVAC/HVDC 電源モジュールユニット用 CAB-HV-25A-SG-IN1 電源コードおよびプラグ

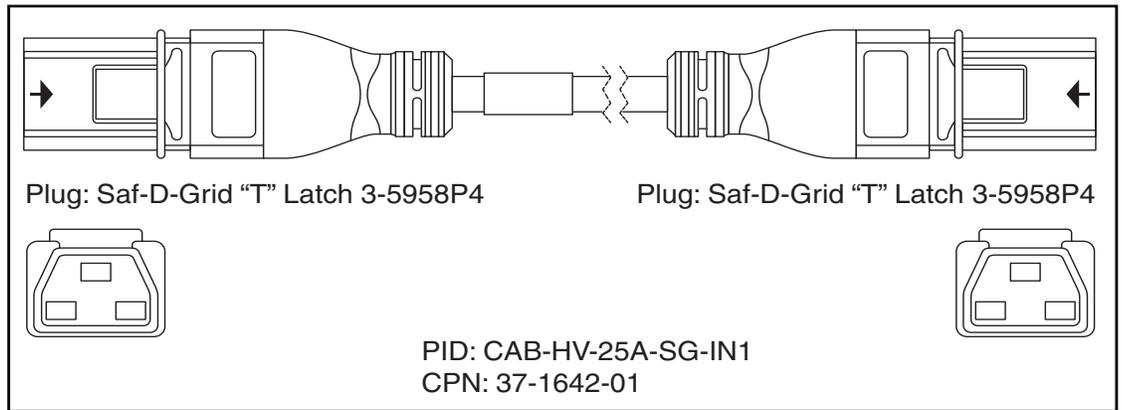


図 A-40 3.5 kW HVAC/HVDC 電源モジュール用 CAB-HV-25A-SG-IN2 電源コードおよびプラグ

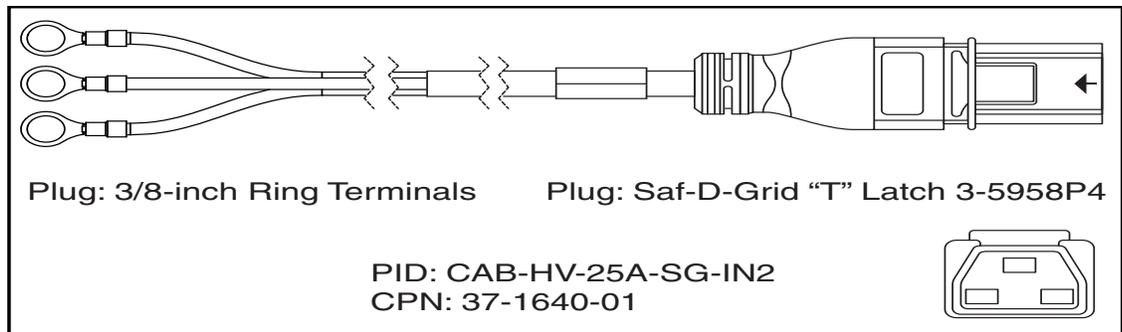
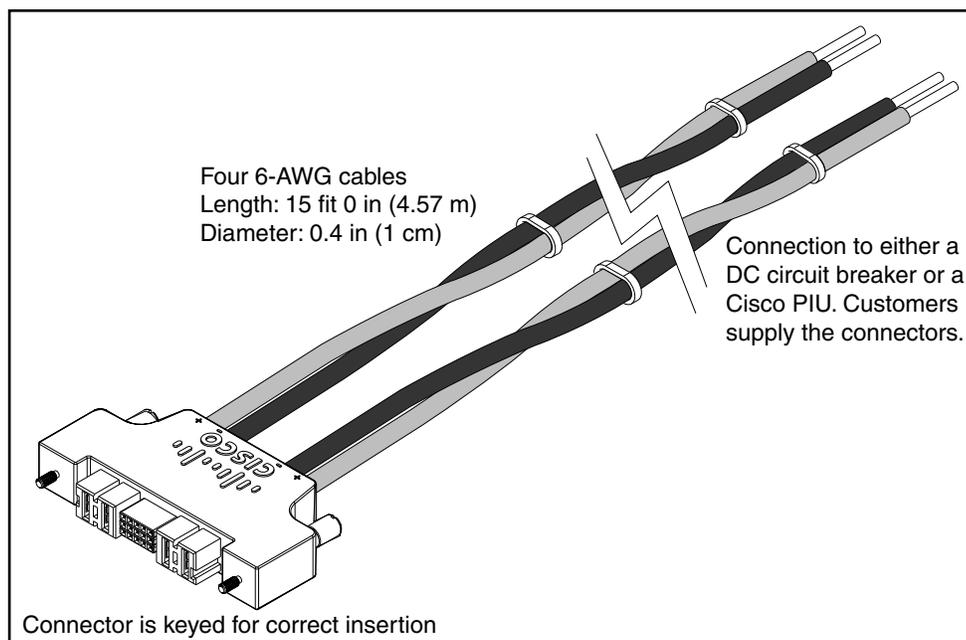


表 A-23 6 kW DC 電源モジュールユニットの電源コード

ロケール	部品番号	コード定格	電源コードの参照図
すべて	N7K-DC-CAB	40 A、48V-48V	図 A-41

図 A-41 6.0 kW DC 電源モジュールユニットの電源コネクタ



236009

シャーシの隙間

各 Cisco Nexus 7000 シリーズ スイッチには、取り付け、メンテナンス、ケーブル接続、および換気用に適度な隙間を取る必要があります。取り付け用の隙間には、リフトでスイッチをラックまたはキャビネットに移動するために、ラックまたはキャビネットの前面に必要なコールドアイル用の隙間が含まれています。メンテナンス用の隙間は、スーパーバイザ、I/O、ファブリック、ファン、電源モジュールの交換に必要なホットアイルまたはコールドアイルのスペースです。ケーブル接続用の隙間によって、ケーブルを曲げたり、シャーシに接続したりするために必要な、シャーシ前面のスペース(多くの場合、キャビネット内)が取られます。通常、エアフローの隙間は、シャーシに出入りする横方向のエアフローのシャーシの左右のスペースです。シャーシに前面から背面へのエアフローがあれば、シャーシ側面のエアフローの隙間の代わりにエアフローのメンテナンス用の隙間を使用します。

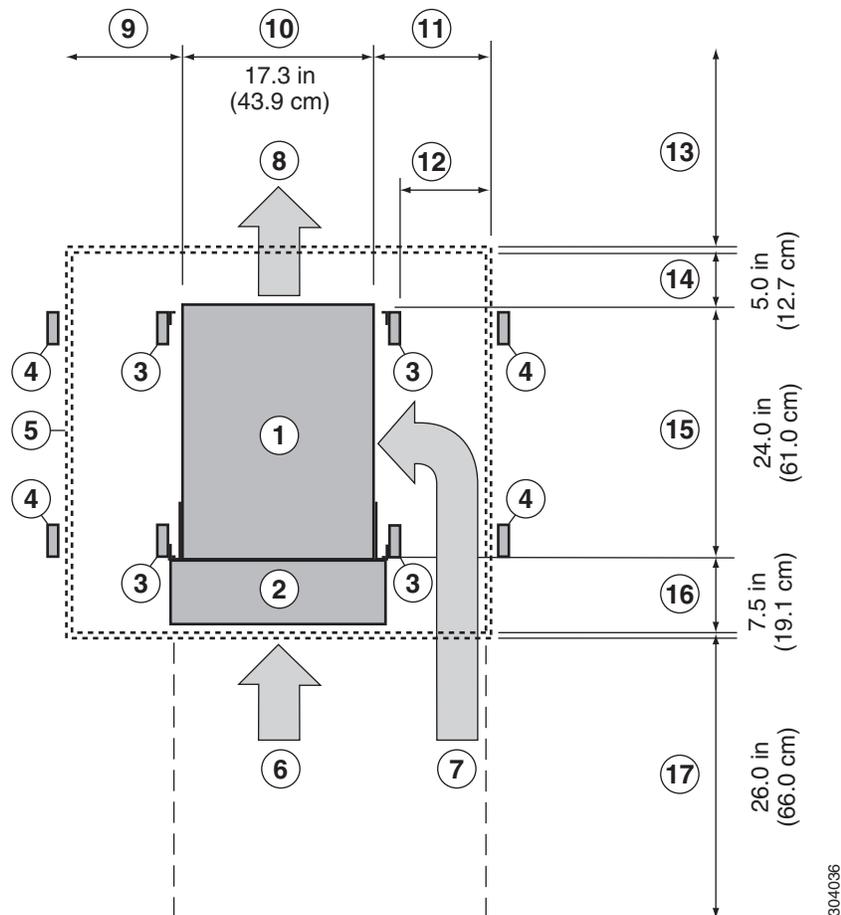
この項では、次のトピックについて取り上げます。

- [Cisco Nexus 7004 シャーシの隙間 \(A-45 ページ\)](#)
- [Cisco Nexus 7009 シャーシの隙間 \(A-49 ページ\)](#)
- [Cisco Nexus 7010 シャーシの隙間 \(A-55 ページ\)](#)
- [Cisco Nexus 7018 シャーシの隙間 \(A-57 ページ\)](#)

Cisco Nexus 7004 シャーシの隙間

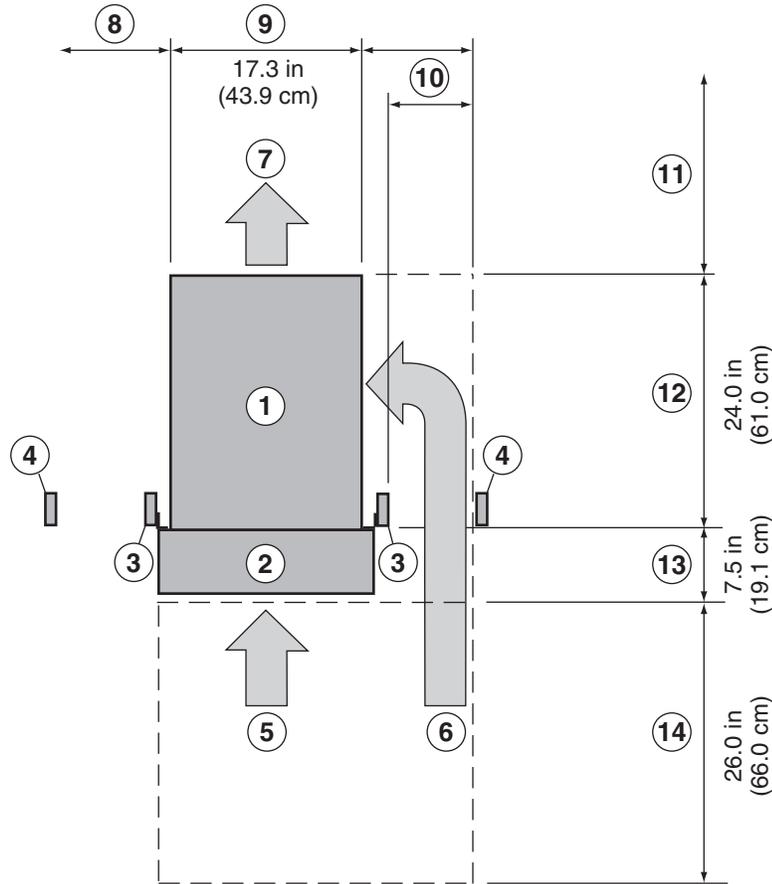
Cisco Nexus 7004 シャーシでは、ケーブルの管理およびメンテナンス用として前面に隙間が必要であり、冷却用空気の取り入れ用として右側に隙間が必要です。また、シャーシ後方のホットアイルに排気できるよう、背面を遮らないようにする必要があります。前面については、ケーブル管理フレーム用として取り付けレールの前に 7.5 インチ (19.1 cm) の隙間が必要であり、さらに、メンテナンス用としてケーブル管理フレームまたはキャビネット扉の前に 26 インチ (66.0 cm) の隙間が必要です。標準の前面マウントブラケットの代わりにオプションのセンターマウントブラケットを使用してシャーシを取り付ける場合は、ラックの取り付けレールの前の隙間に 5.7 インチ (14.4 cm) を追加する必要があります。キャビネットに取り付ける場合は、スイッチとキャビネット内側との間に 11 インチ (27.9 cm) の右側の隙間を設けることを推奨します。ラックに取り付ける場合は、右側の隙間として、ラック間に 6 インチ (15.2 cm) またはシャーシと壁の間に 11 インチ (27.9 cm) のスペースを設けることを推奨します。排気のために、シャーシの背面は、スイッチ後方のホットアイルに向けて障害物がないオープンな状態にしておく必要があります。図 A-42 は、前面マウントで 4 支柱ラックにシャーシを取り付ける場合の必要な隙間を示しています。図 A-43 (A-47 ページ) は、前面マウントで 2 支柱ラックにシャーシを取り付ける場合の必要な隙間を示しています。図 A-44 (A-48 ページ) は、センターマウントで 2 支柱ラックにシャーシを取り付ける場合の必要な隙間を示しています。

図 A-42 前面マウントブラケットで 4 支柱ラックに取り付ける場合の Cisco Nexus 7004 に必要な隙間



1	シャーシ	10	シャーシの幅
2	ケーブル管理フレーム	11	キャビネットへの設置に推奨される右側のスペース <ul style="list-style-type: none"> • 27.9 cm (11 インチ)を使用。
3	垂直ラックマウントの支柱	12	オープン ラックへの設置に推奨される右側のスペース <ul style="list-style-type: none"> • 別のオープン ラックの横にある場合、ラック間に 15.2 cm (6 インチ)を使用します。 • 壁の横にある場合、シャーシと壁の間に 27.9 cm (11 インチ)を使用します。
4	隣接するラック用の縦型ラックマウント支柱	13	背面のスペースは必要ありませんが背面は排気のためホットアイル用に開いている必要があります。
5	キャビネット内部(左側のスペース必要なし)	14	シャーシとキャビネットの内部の間で必要なエアフローのスペース(キャビネットを使用する場合)
6	電源モジュールのコールドアイルからの空気取り入れ口	15	シャーシの奥行
7	スーパーバイザ モジュールおよび I/O モジュール用コールドアイルからの吸気口	16	ケーブル管理フレームとオプションの前面扉のために、シャーシ前面とキャビネット内部(使用する場合)またはコールドアイルの端(キャビネットがない場合)との間に必要なスペース
8	すべてのモジュールおよび電源モジュールのホットアイルへの排気口	17	シャーシの設置およびモジュールの交換に必要な前面保守用スペース
9	左側のスペースは不要(左側にエアフローなし)		

図 A-43 前面マウント ブラケットで 2 支柱ラックに取り付ける場合の Cisco Nexus 7004 に必要な隙間



304180

1	Cisco Nexus 7004 シャーシ	8	左側のスペースは不要(左側にエアフローなし)
2	ケーブル管理フレーム	9	シャーシの幅
3	垂直ラックマウントの支柱	10	オープンラックへの設置に推奨される右側のスペース <ul style="list-style-type: none"> 別のオープンラックの横にある場合、ラック間に 15.2 cm (6 インチ) を使用します。 壁の横にある場合、シャーシと壁の間に 27.9 cm (11 インチ) を使用します。
4	隣接するラック用の垂直ラックマウント支柱	11	背面のスペースは必要ありませんが背面は排気のためホットアイル用に開いている必要があります。
5	電源モジュールのコールドアイルからの空気取り入れ口	12	シャーシの奥行

4	隣接するラック用の縦型ラックマウント支柱	11	背面のスペースは必要ありませんが背面は排気のためホットアイル用に開いている必要があります。
5	電源モジュールのコールドアイルからの空気取り入れ口	12	縦型ラックマウント支柱の前面からシャーシ背面への距離
6	スーパーバイザモジュールおよび I/O モジュール用コールドアイルからの吸気口	13	ケーブル管理フレームおよびオプションの前面扉のために、シャーシの前面と内部との間に必要な隙間
7	すべてのモジュールおよび電源モジュールのホットアイルへの排気口	14	シャーシの設置およびモジュールの交換に必要な前面保守用スペース

Cisco Nexus 7009 シャーシの隙間

Cisco Nexus 7009 シャーシには、4 支柱ラックまたはキャビネット、前面マウント ブラケット付きの 2 支柱ラック、およびセンターマウント ブラケット付きの 2 支柱ラックを使用した取り付けに必要な、さまざまな隙間要件があります。

4 支柱ラックまたはキャビネットの取り付けでは、シャーシには、次の隙間が必要です(図 A-45 を参照)。

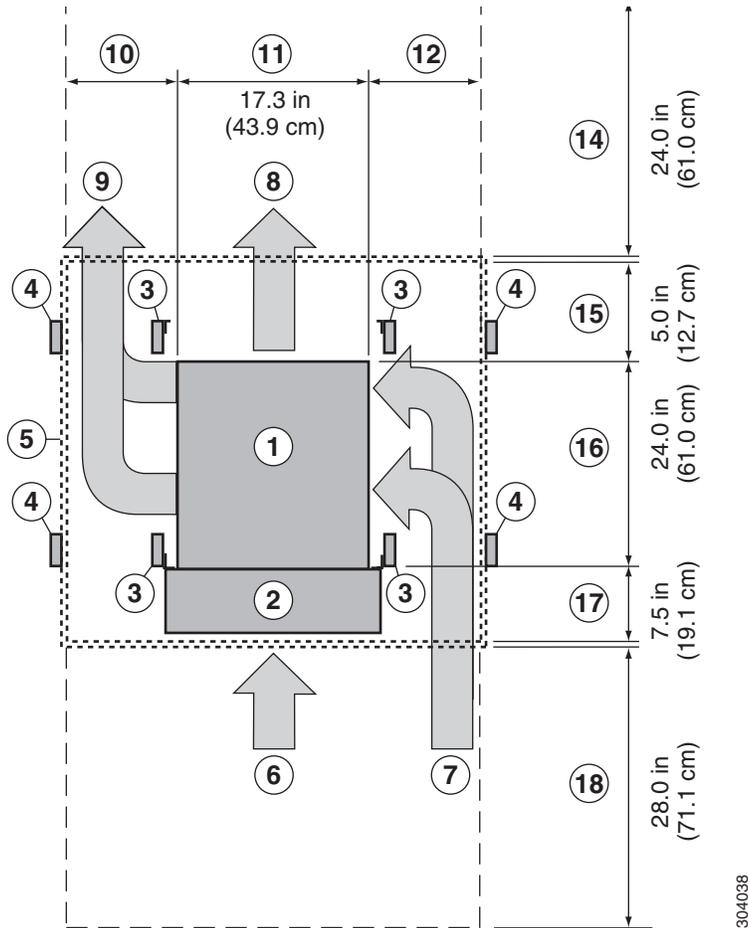
- 前面の隙間には、次の両方が必要です。
 - キャビネットまたはラックの内部表面とシャーシ前面との間の 7.5 インチ (19.1 cm) のケーブル接続用エリア (このエリアには、オプションでケーブル管理フレームも含めることができます)
 - ラックまたはキャビネットの前面と、コールドアイルの次のオブジェクトの間の 24 インチ (61.1 cm) のメンテナンス エリア



(注) ラックに対してシャーシを移動するために使用するワイドリフト用に、メンテナンス エリアを増やす必要が生じる場合があります。

- 背面の隙間には、次の両方が含まれます。
 - シャーシの背面と、キャビネットまたはラックの内部表面の間の 7 インチ (17.8 cm) のケーブル接続用エリア。
 - ラックまたはキャビネットの背面と、ホットアイルの次のオブジェクトの間の 24 インチ (61.1 cm) のメンテナンス エリア。
- シャーシの両側のエアフロー用に 11 インチ (27.9 cm) の隙間。

図 A-45 前面マウントで4支柱ラックに取り付ける場合の Cisco Nexus 7009 シャーシに必要な隙間



1	Cisco Nexus 7009 シャーシ	10	排気用のホットアイルの開口部を閉塞しないようにするために必要な左側のスペース
2	ケーブル管理フレーム	11	シャーシの幅
3	垂直ラックマウントの支柱	12	キャビネット設置に推奨する側面スペース: <ul style="list-style-type: none"> • 11 インチ (27.9 cm) を使用します。
4	隣接するラックの垂直ラックマウントの支柱	13	開放型ラック設置の側面推奨スペース: <ul style="list-style-type: none"> • 別の開放型ラックの横に設置する場合、6 インチ (15.2 cm) を使用します。 • 壁面の横に設置する場合、11 インチ (27.9 cm) を使用します。
5	最も近い物体またはキャビネットの内側	14	ファントレイおよびファブリックモジュールの交換に必要な背面保守用スペース

6	電源モジュール用のコールドアイルからの空気取り入れ口	15	シャーシの背面とキャビネットの内側との間に必要な通気用スペース(使用する場合)
7	スーパーバイザ、ファブリック、および I/O モジュール用コールドアイルから空気取り入れ口	16	シャーシの奥行
8	電源モジュールのホットアイルへの排気口	17	ケーブル管理フレームとオプションの前面扉のために、シャーシの前面とキャビネットの内側(使用する場合)またはコールドアイルの端(キャビネットを使用しない場合)との間に必要なスペース
9	スーパーバイザ、ファブリック、および I/O モジュール用ホットアイルへの排気口	18	シャーシの設置およびモジュールの交換に必要な前面のスペース

前面マウントブラケットを使用する 2 支柱ラックの取り付けでは、シャーシに次の隙間が必要です(図 A-46 を参照)。

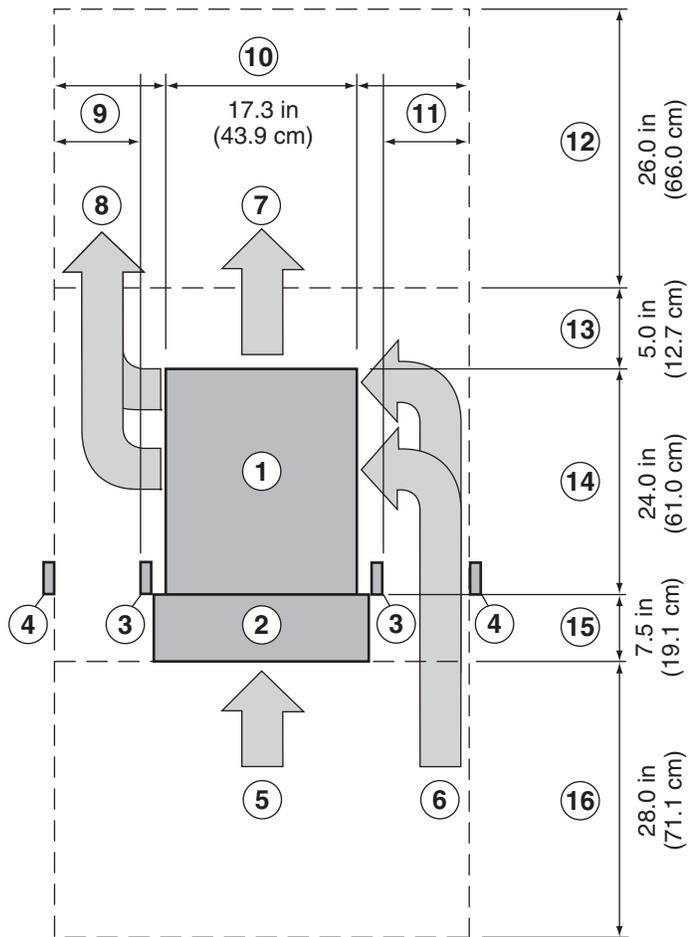
- 前面の隙間には、次の両方が必要です。
 - シャーシ前面とコールドアイルの間の 7.5 インチ(19.1 cm)のケーブル接続用エリア(このエリアには、オプションでケーブル管理フレームも含めることができます)
 - シャーシの取り付けやモジュールの交換に必要な、ケーブル接続用エリアの前の 28 インチ(71.1 cm)のメンテナンス用エリア



(注) ラックに対してシャーシを移動するために使用するワイドリフト用に、メンテナンスエリアを増やす必要が生じる場合があります。

- 背面の隙間には、ケーブル管理やモジュールおよび電源装置の交換に必要な 26 インチ(66.0 cm)がシャーシ背面に必要です。
- 側面の隙間の推奨値は、次のように、取り付けにラックを使用するかキャビネットを使用するかに応じて異なります。
 - キャビネットに取り付ける場合は、エアフローのためにシャーシの両側に 11 インチ(27.9 cm)の隙間を設けることを推奨します。
 - ラックに取り付ける場合は、シャーシと壁面の間に 11 インチ(27.9 cm)、またはラック間に 6 インチ(15.2 cm)の隙間を設けることを推奨します。

図 A-46 2 支柱ラック内の前面マウント Cisco Nexus 7009 シャーシに必要な隙間



304233

1	Cisco Nexus 7009 シャーシ	9	開放型ラック設置に必要なスペース： <ul style="list-style-type: none"> 別の開放型ラックの横に設置する場合、6 インチ (15.2 cm) を使用します。 壁面の横に設置する場合、11 インチ (27.9 cm) を使用します。
2	ケーブル管理フレーム	10	シャーシの幅
3	垂直ラックマウントの支柱	11	開放型ラック設置に必要なスペース： <ul style="list-style-type: none"> 別の開放型ラックの横に設置する場合、6 インチ (15.2 cm) を使用します。 壁面の横に設置する場合、11 インチ (27.9 cm) を使用します。
4	隣接するラックの垂直ラックマウントの支柱	12	ファントレイおよびファブリックモジュールの交換に必要な背面保守用スペース
5	電源モジュール用のコールドアイルからの空気取り入れ口	13	シャーシとキャビネットの内側の間に必要な通気用スペース (使用する場合)

6	スーパーバイザ、ファブリック、および I/O モジュール用コールドアイルから空気取り入れ口	14	シャーシの奥行
7	電源モジュールのホットアイルへの排気口	15	ケーブル管理フレームとオプションの前面扉のために、シャーシの前面とコールドアイルの端との間に必要なスペース
8	スーパーバイザ、ファブリック、および I/O モジュール用ホットアイルへの排気口	16	シャーシの設置およびモジュールの交換に必要な前面のスペース

センターマウントブラケットを使用する 2 支柱ラックの取り付けでは、シャーシに次の隙間が必要です(図 A-47 を参照)。

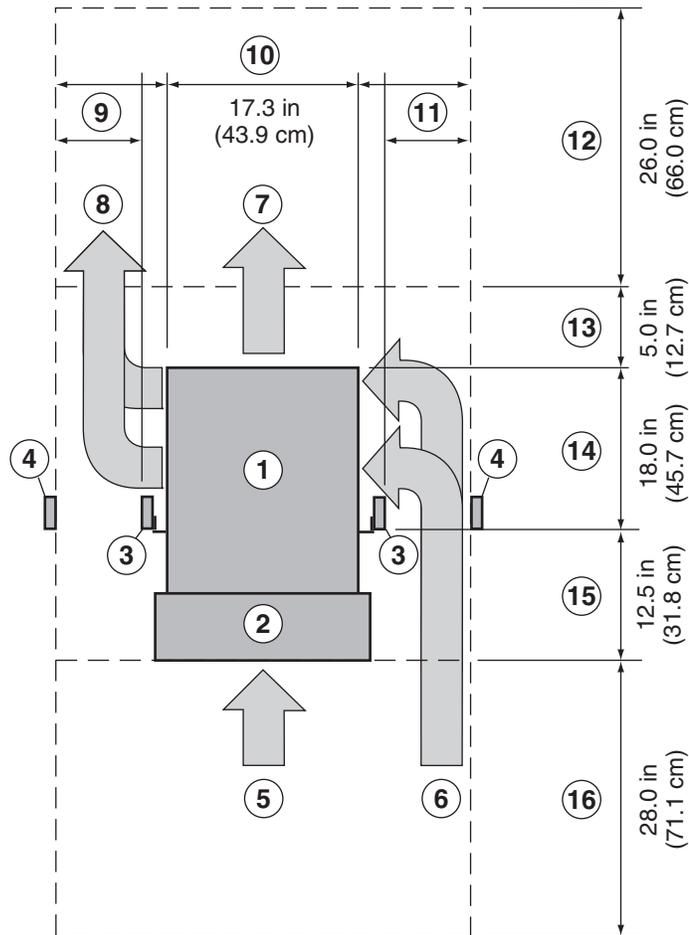
- 次の両方用の 37 インチ(94.0 cm)の前面の隙間
 - 支柱の前面間の 13.5 インチ(34.3 cm)のケーブル接続用エリア(支柱はシャーシ前面から 6 インチ(15.2 cm)後ろ)
 - シャーシの取り付けやモジュールの交換に必要な、ケーブル接続用エリアの前の 26 インチ(66.0 cm)のメンテナンス用エリア。



(注) ラックに対してシャーシを移動するために使用するワイドリフト用に、メンテナンスエリアを増やす必要が生じる場合があります。

- 背面の隙間には、ケーブル管理やファンモジュールおよび電源装置の交換に必要な 26 インチ(66.0 cm)がシャーシ背面に必要です。
- シャーシの両側のエアフロー用に 11 インチ(27.9 cm)の隙間。

図 A-47 2 支柱ラック内のセンター マウント Cisco Nexus 7009 シャーシに必要な隙間



304037

1 Cisco Nexus 7009 シャーシ	9 コールドアイルから空気を取り入れるために推奨される右側のスペース(ラック設置用): <ul style="list-style-type: none"> 別の開放型ラックの横に設置する場合、6 インチ(15.2 cm)を使用します。 壁面の横に設置する場合、11 インチ(27.9 cm)を使用します。
2 ケーブル管理フレーム	10 シャーシの幅
3 垂直ラックマウントの支柱	11 コールドアイルから空気を取り入れるために推奨される右側のスペース(ラック設置用): <ul style="list-style-type: none"> 別の開放型ラックの横に設置する場合、6 インチ(15.2 cm)を使用します。 壁面の横に設置する場合、11 インチ(27.9 cm)を使用します。

4	隣接するラックの垂直ラックマウントの支柱	12	ファントレイおよびファブリックモジュールの交換に必要な背面保守用スペース
5	電源モジュールのコールドアイルからの空気取り入れ口	13	シャーシとキャビネットの内側の間に必要な通気用スペース(使用する場合)
6	スーパーバイザ、ファブリック、および I/O モジュール用コールドアイルから空気取り入れ口	14	シャーシの奥行
7	電源モジュールのホットアイルへの排気口	15	ケーブル管理フレームおよびオプションの前面扉の前面とシャーシ前面との間に必要な隙間
8	スーパーバイザ、ファブリック、および I/O モジュール用ホットアイルへの排気口	16	シャーシの設置およびモジュールの交換に必要な前面保守用スペース

Cisco Nexus 7010 シャーシの隙間

Cisco Nexus 7010 シャーシには、次の隙間が必要です(図 A-48 を参照)。

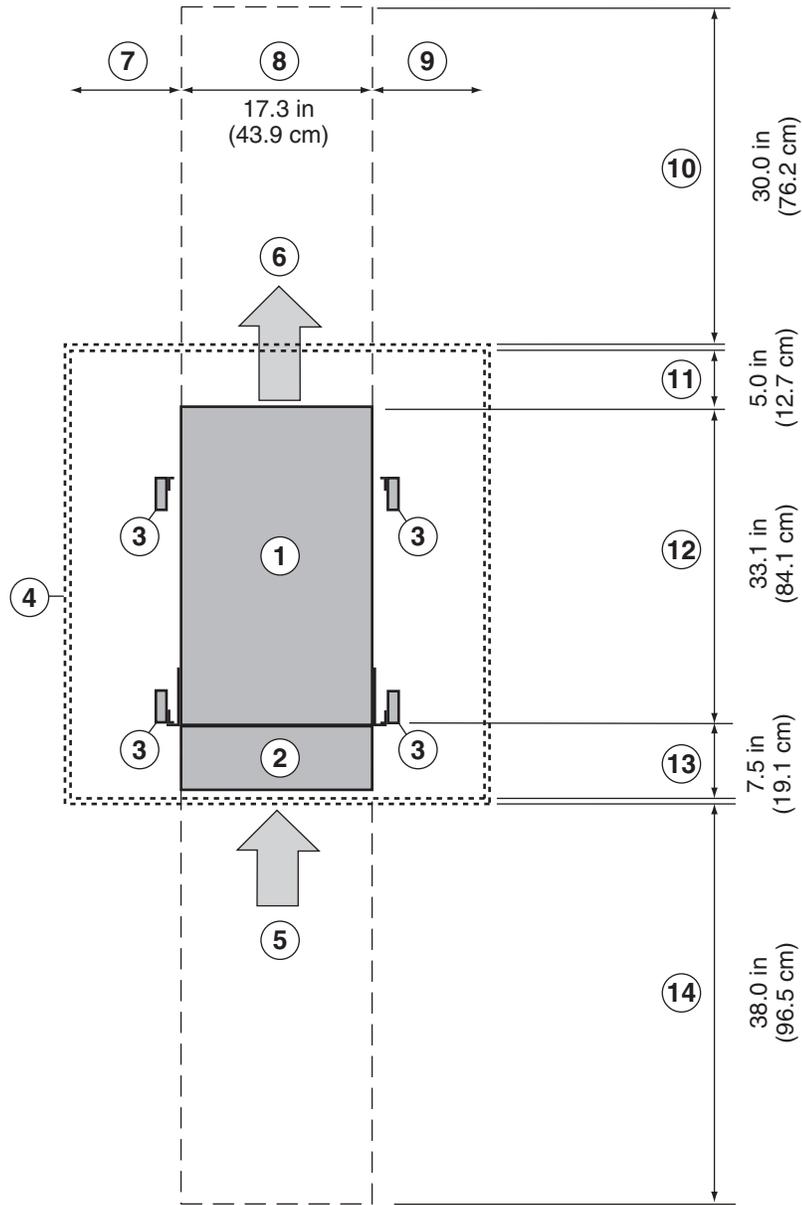
- 次の両方用の 45.5 インチ(115.6 cm)の前面の隙間
 - キャビネットの内側またはラックの前面とシャーシの前面との間の 7.5 インチ(19.1 cm)のケーブル接続用エリア
 - ラックまたはキャビネットの前のコールドアイル通過用の 38 インチ(96.5 cm)のメンテナンス エリア



(注) ラックに対してシャーシを移動するために使用するワイドリフト用に、メンテナンス エリアを増やす必要が生じる場合があります。

- 次の両方用の 35 インチ(88.9 cm)の背面の隙間
 - ラックまたはキャビネットの内部の 5 インチ(12.7 cm)のエアーフロー領域
 - ラックまたはキャビネットの後ろのホットアイル通過用の 30 インチ(76.2 cm)のメンテナンス エリア

図 A-48 Cisco Nexus 7010 スイッチに必要な隙間



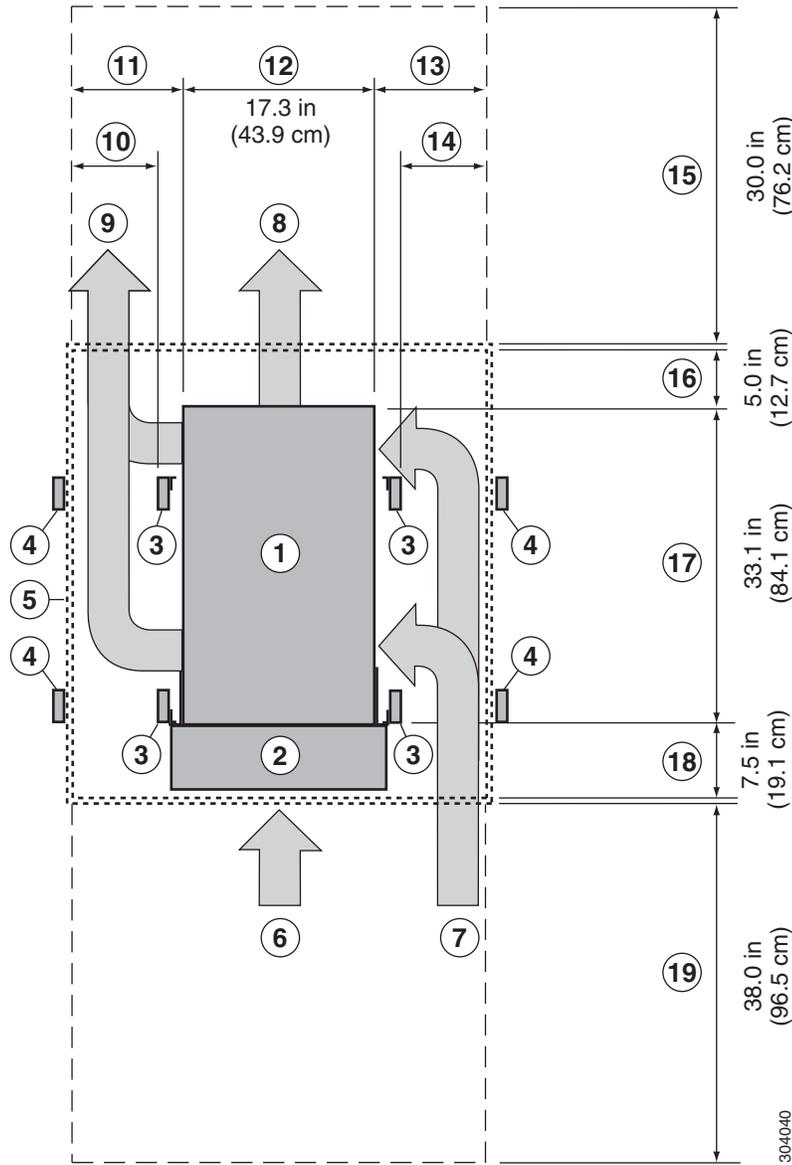
Cisco Nexus 7018 シャーシの隙間

1	Cisco Nexus 7010 シャーシ	8	シャーシの幅
2	ケーブル管理システム	9	右側のスペースは不要(右側にエアフローなし)
3	垂直ラックマウントの支柱	10	ファントレイおよびファブリックモジュールの交換に必要な背面保守用スペース
4	キャビネット内部(側面のスペースは不要)	11	シャーシとキャビネットの内側の間に必要な通気用スペース(使用する場合)
5	すべてのモジュールと電源モジュール用のコールドアイルからの空気取り入れ口	12	シャーシ背面にあるファントレイのハンドルを含むシャーシの奥行
6	すべてのモジュールおよび電源モジュールのホットアイルへの排気口	13	ケーブル管理フレームとオプションの前面扉のために、シャーシの前面とキャビネットの内側(使用する場合)またはコールドアイルの端(キャビネットを使用しない場合)との間に必要なスペース
7	左側のスペースは不要(左側にエアフローなし)	14	シャーシの設置およびモジュールの交換に必要な前面保守用スペース

Cisco Nexus 7018 シャーシには、次の隙間が必要です(図 A-49 を参照)。

- 次の両方用の 45 インチ(114.3 cm)の前面の隙間
 - キャビネットの内側またはラックの前面とシャーシの前面との間の 7.5 インチ(19.1 cm)のケーブル接続用エリア
 - ラックまたはキャビネットの前面と、コールドアイル内の次のラック、キャビネット、または壁の間の 38 インチ(96.5 cm)のメンテナンス エリア(シャーシの移動に使用する大型リフト用に、追加エリアが必要になる場合があります)
- 次の両方用の 35 インチ(88.9 cm)の背面の隙間
 - キャビネット内の 5 インチ(12.7 cm)のエアフロー領域(使用する場合)
 - ラックまたはキャビネットの後ろのホットアイル通過用の 30 インチ(76.2 cm)のメンテナンス エリア
- 側面の隙間の推奨値は、キャビネットを使用するかラックを使用するかに応じて異なります。
 - キャビネットに取り付ける場合は、キャビネットの内側とシャーシとの間に 11 インチ(27.9 cm)の隙間を設けます。
 - ラックに取り付ける場合は、シャーシと壁面の間に 11 インチ(27.9 cm)、またはラック間に 6 インチ(15.2 cm)の隙間を設けます。

図 A-49 Cisco Nexus 7018 スイッチに必要な隙間



1	Cisco Nexus 7018 シャーシ	11	キャビネット設置用の推奨側面スペース： • 11 インチ (27.9 cm) を使用します。
2	ケーブル管理フレーム	12	シャーシの幅
3	垂直ラックマウントの支柱	13	キャビネット設置用の推奨側面スペース： • 11 インチ (27.9 cm) を使用します。

4	隣接するラックの垂直ラックマウントの支柱	14	開放型ラック設置の側面推奨スペース： <ul style="list-style-type: none"> 別の開放型ラックの横に設置する場合、6 インチ (15.2 cm) を使用します。 壁面の横に設置する場合、11 インチ (27.9 cm) を使用します。
5	最も近い物体またはキャビネットの内側 (エアフローに必要な側面スペース)	15	ファントレイおよびファブリック モジュールの交換に必要な背面保守用スペース
6	電源モジュール用のコールドアイルからの空気取り入れ口	16	シャーシとキャビネットの内側の間に必要な通気用スペース (キャビネット設置の場合のみ)
7	スーパーバイザ、ファブリック、および I/O モジュール用コールドアイルから空気取り入れ口	17	シャーシの奥行
8	電源モジュール用のホットアイルへの排気口	18	ケーブル管理フレームとオプションの前面扉のために、シャーシの前面とキャビネットの内側 (キャビネット設置) またはコールドアイルの端 (ラック設置) との間に必要なスペース
9	スーパーバイザ、ファブリック、および I/O モジュール用ホットアイルへの排気口	19	シャーシの設置およびモジュールの交換に必要な前面保守用スペース
10	開放型ラック設置の側面推奨スペース： <ul style="list-style-type: none"> 別の開放型ラックの横に設置する場合、6 インチ (15.2 cm) を使用します。 壁面の横に設置する場合、11 インチ (27.9 cm) を使用します。 		

ファシリティ冷却要件

Cisco Nexus 7000 シリーズ スイッチは、大量の熱を生み出す大量の電力を放散します。このようなスイッチの熱放散要件を次に示します。

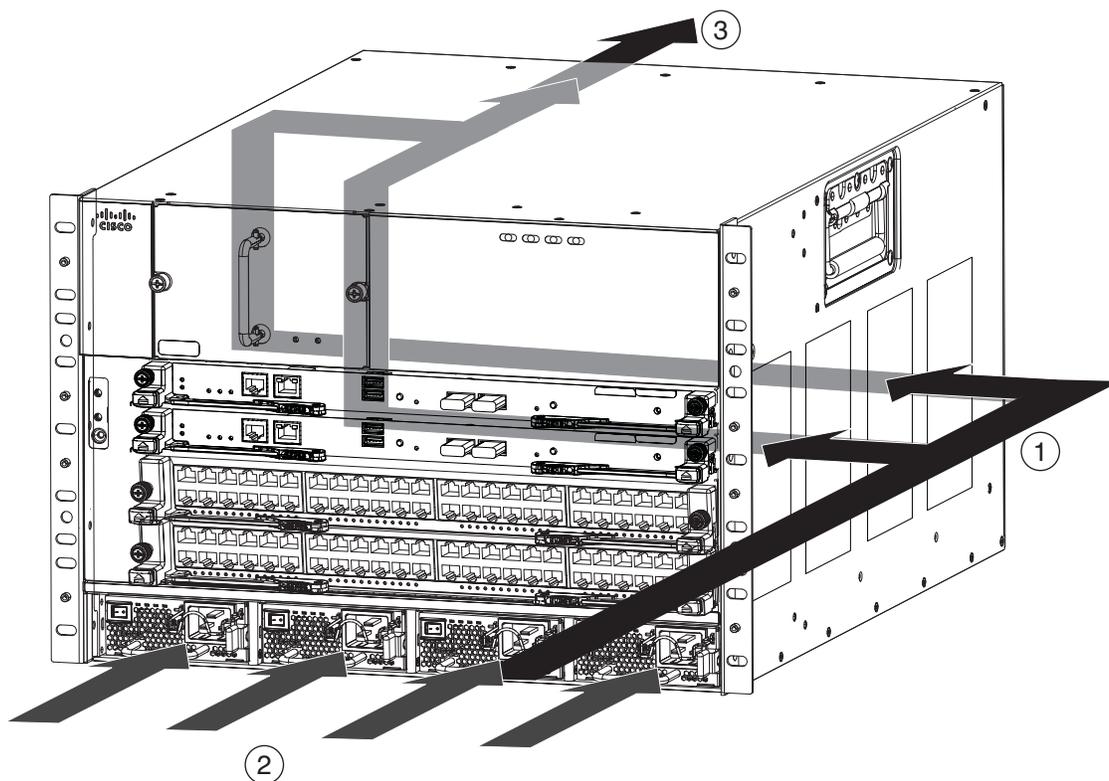
- Cisco Nexus 7004 は、1 時間あたり最大 9737 BTU を放散します。
- Cisco Nexus 7009 は、1 時間あたり最大 28,101 BTU を放散します。
- Cisco Nexus 7010 は、1 時間あたり最大 35,162 BTU を放散します。
- Cisco Nexus 7018 は、1 時間あたり最大 51,195 BTU を放散します。

シャーシのエアフロー

Cisco Nexus 7000 シリーズ スイッチは、ホットアイル/コールドアイル環境で動作するように設計されており、前面から背面、横方向、または側面から背面へのエアフローが使用されます。これらのスイッチのそれぞれにおいて、次のエアフロー方向のいずれかが使用されます。

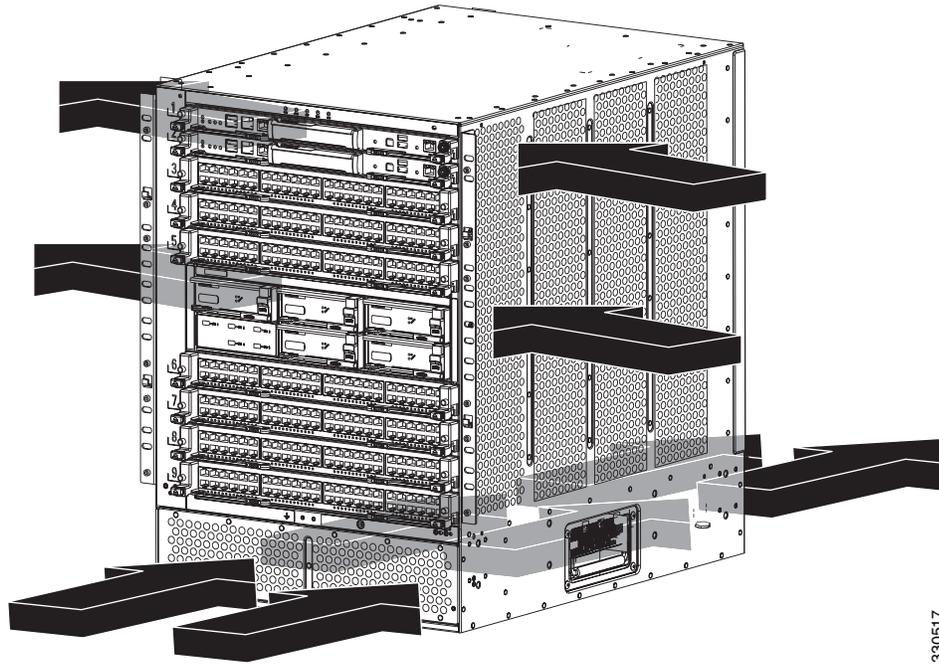
- 図 A-50 に示されているように、Cisco Nexus 7004 スイッチでは、モジュールの冷却に側面から背面へのエアフローを使用し、電源モジュールの冷却に前面から背面へのエアフローを使用します。このスイッチでは、シャーシへのエアフローを確保するために右側に隙間が必要です。
- 図 A-51 に示されているように、Cisco Nexus 7009 スイッチはモジュールの冷却に横方向のエアフローを使用し、電源の冷却には前から後ろへのエアフローを使用します。このスイッチでは、シャーシに出入りするエアフローを確保するために右側と左側に隙間が必要です。
- 図 A-52 に示されているように、Cisco Nexus 7010 スイッチは前から後ろへのエアフローを使用します。
- 図 A-53 に示されているように、Cisco Nexus 7018 スイッチはモジュールの冷却に横方向のエアフローを使用し、電源装置の冷却には前から後ろへのエアフローを使用します。このスイッチでは、シャーシに出入りするエアフローを確保するために右側と左側に隙間が必要です。

図 A-50 Cisco Nexus 7004 シャーシのエアフロー



1	スーパーバイザ モジュールと I/O モジュールを冷却する右側から背面へのエアフロー	3	背面からホットアイルへの排気
2	電源モジュールを冷却する前面から背面へのエアフロー		

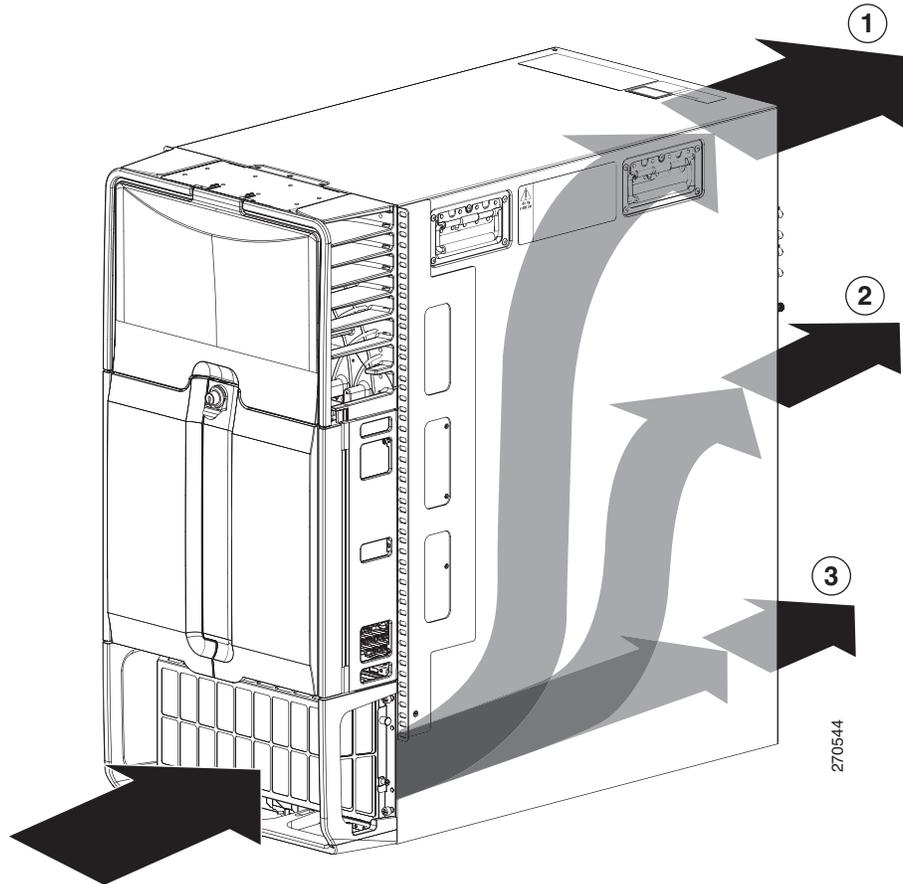
図 A-51 Cisco Nexus 7009 シャーシのエアフロー



3330517

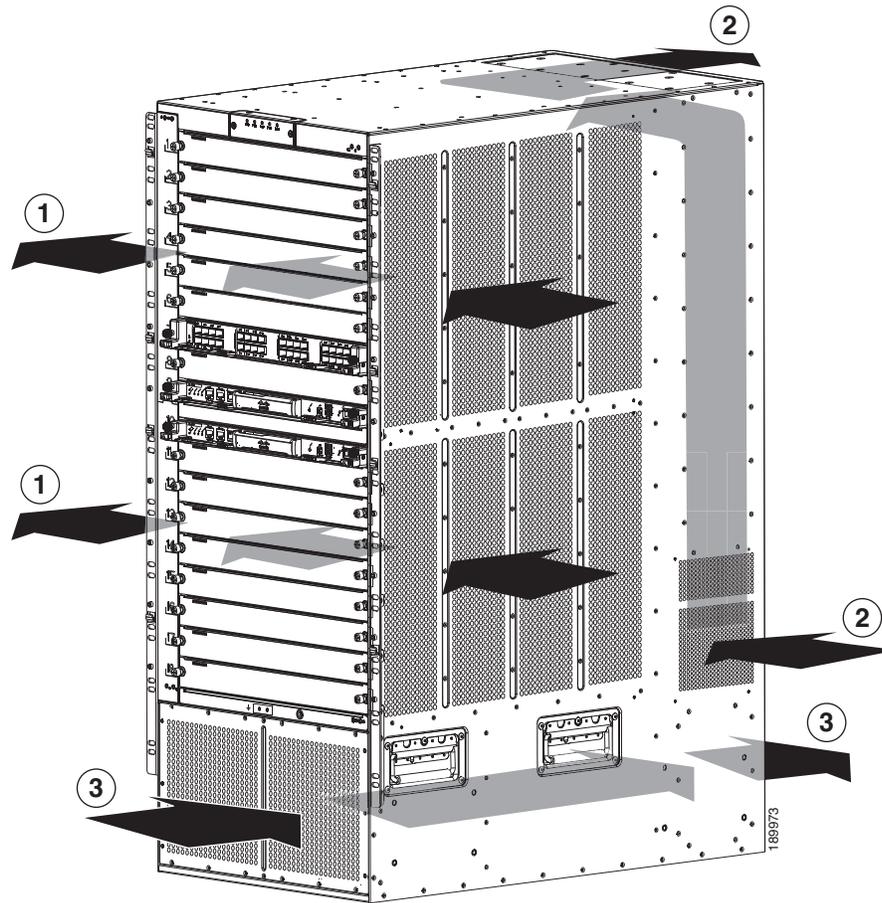
<p>1 スーパーバイザ モジュール、I/O モジュール、およびファブリック モジュールを冷却するためのエアフロー</p>	<p>2 電源モジュールユニットを冷却するためのエアフロー</p>
--	--

図 A-52 Cisco Nexus 7010 シャーシのエアフロー



1	スーパーバイザおよび I/O モジュールを冷却するためのエアフロー	3	電源モジュールユニットを冷却するためのエアフロー
2	ファブリック モジュールを冷却するためのエアフロー		

図 A-53 Cisco Nexus 7018 シャーシのエアフロー



1	スーパーバイザおよび I/O モジュールを冷却するためのエアフロー	3	電源モジュールユニットを冷却するためのエアフロー
2	ファブリック モジュールを冷却するためのエアフロー		

Cisco Nexus 7004 スイッチでは、右側から入る冷却用エアフローを妨げることなく、右側または左側にケーブルを配線できます。それ以外の場合は、コールドアイルからの冷却用エアがシャーシの前面に流れるように、右側をふさがらないよう注意してください。

Cisco Nexus 7009 および 7018 スイッチが右側のコールドアイルおよび床から空気を取り込めるようにするには、スイッチの左前面部にケーブルを配線する必要があります。必要に応じて、シャーシの右前面上にケーブルを配線して、シャーシ前面にコールドアイルからの冷却用空気が入るように右側下方を開けておきます。ケーブルを左側に配置し、左背面をふさがないようにすると、排気は後方のホットアイルに向かいます。

スイッチの両側に隙間が必要になる場合については、「シャーシの隙間」セクション(A-44 ページ)を参照してください。

